I·O DATA

Rec-POT
DIGITAL Hi-VISION HDD RECORDER

EXシリーズ

取扱説明書











B-MANU200878-01

もくじ

はじめにお読みください 2
必ずお守りください 3

はじめに［必ずお読みください］ 9
特長 10
内容物を確かめる 11
各部の名称 12
前面 12
背面 13
専用リモコン 14

使えるようにしよう［必ずお読みください］ 15
モードを切り換える 16
設置する 18
接続する 19
電源を入れる／切る 20
専用リモコンを準備する 21
電池を入れる 21
お手持ちのテレビを操作できるようにする 22
チューナーに登録する 23

使ってみよう（ディスクモードの場合） 25
録画する 26
録画の仕組み 26
再生する 27
D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 27

使ってみよう（D-VHS モードの場合）..... 29

Rec-POT メニュー 30
Rec-POT メニューを開く 30
Rec-POT メニューの種類 31
タイトルリスト 32
サブメニュー 34
接続機器設定 35
機器設定 37
プレイリストモード 39

録画する 40
録画の仕組み 40

再生する 43

番組を削除する 45

番組を保護する［ロック］ 46
ロックの仕組み 46
番組をロック／解除する 46
今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能） 47
全ての番組のロックを解除する 47

D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 48

番組を編集する 51
プレイリスト機能のあらまし 51
プレイリストを作ってみよう 51

付録 61

全ての番組を削除する 62

ハイビジョンカメラと連携する 63

２台のチューナーで録画する 70

困った時には 72

Rec-POT メニューメッセージ 76

仕様 79

索引 80
ご意見・ご質問はこちら 82
修理について 83

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

呼び方

呼び方	説明
本製品	Rec-POT EXシリーズ
チューナー	デジタルチューナー、デジタルチューナー内蔵テレビ

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

危険、警告および注意事項

 **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

マークの説明

	この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
	この記号は、禁止の行為を告げるものです。
	この記号は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠危険


分解禁止

修理・改造・分解はしない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有料修理となる場合があります。


禁止

電池で以下のことに注意する

液が漏れて、「けが」や「やけど」の原因となります。

- くぎを刺したり、分解・改造をしない
- 60℃以上の場所、車中で放置しない
- 定格条件以外では使わない
- 充電しない
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らさない
- 電子レンジ・高圧容器・オーブンに入れない
- （＋）（－）を金属類やはんだで短絡させたりしない
- （＋）（－）を逆に接続しない
- ネックレスやヘアピンなどの金属と一緒に持ち運ばない
- 投げる、ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えない
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わない

⚠警告


電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止する

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。


電源プラグを抜く

金属などの端面への接触

本製品の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。


感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。


電源プラグを抜く

内部に異物や液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら電源プラグを抜く


禁止

電源コードを傷つけない

電源コードが傷むと、火災・感電・故障の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- ねじらない
- 熱器具のそばで使わない
- 重ねて使わない


禁止

装置内部へ異物をいれない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。


厳守

電源コードの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
  不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 長時間本製品を使わない場合は、電源プラグを抜いてください。


厳守

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使うと、火災や感電の原因になります。使う場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。


厳守

電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。


禁止

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因になります。


禁止

コンセントや配線機器の定格を超えたり、交流 100V 以外で使わない

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。


接触禁止

接触禁止

雷が鳴り出したら本製品やケーブルには触れないでください。感電の原因となります。


厳守

電源プラグのほこりは定期的にそうじする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。


禁止

通気孔をふさがない

本製品にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。
物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。


禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。


水濡れ禁止

水でぬらさない

水がかかったり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺・風呂場、シャワー室で使う際は特にご注意ください。
- 水などの入ったものを上に置かないでください。
  （コップ、花びん、植木鉢、化粧品や薬品容器など）


禁止

落としたり破損した場合は使わない

火災や感電の原因になります。


厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従う


厳守

電池は、乳幼児の手の届かない場所に置く

電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、体や衣服に付くと、失明や「けが」、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ⇒ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服に付いたとき ⇒ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
皮膚の炎症や「けが」の症状があるときは、医師に相談してください。

⚠注意


厳守

接続したままで移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
電源コードや接続コードを外したこと確認してから移動させてください。


厳守

配線について

電源コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。
足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。


禁止

上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。


禁止

本製品に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となることがあります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。


禁止

本製品は下記のような場所で使わない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 熱器具の近く
- 振動や衝撃の加わるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 風通しの悪いところや狭いところ


厳守

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、「けが」や「やけど」の原因となります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。

使用上のご注意

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

お手入れについて

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。
・化学ぞうきんを使う際は、その注意書きにしたがってください。
・お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電の原因となることがあります。

大切な録画は…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されている事を確認してください。
・本製品を使っているときに、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消えてしまう事があります。

記録された番組の互換性について

本製品に記録された番組は、記録したチューナーでご覧ください。
他のチューナーでは、再生できない場合があります。
また、本製品に記録された番組は、全てのチューナーで再生できることを保証されるものではありません。

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化の影響により、記録された映像が損なわれる場合がありますので、以下の点にご注意ください。

・設置場所にご注意ください。 **【設置する】**（18ページ）
・衝撃をあたえないでください。
・録画や再生中は電源プラグを抜かないでください。電源を切り、動作が完全に終了してから、電源プラグを抜いてください。
・ハードディスクに記録されたデータは保証されるものではありません。

著作権保護のための録画防止機能について

著作権保護のために、録画禁止の信号が付加されている放送や映像を録画することはできません。

著作権について

本製品で録画、録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使えません。

はじめに

特長 10

内容物を確かめる 11

各部の名称 12

前面 12

背面 13

専用リモコン 14

特長

本製品は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をデジタル録画する i.LINK 接続ハードディスクレコーダーです。
ここでは、本製品の特長を簡単に紹介いたします。

デジタル放送をそのまま録画

本製品は、松下電器産業株式会社のデジタル家電用ハードディスク「AVHDD」を搭載しています。
i.LINKによるデジタル録画のため、現在最高の画質レベルで提供されているデジタルハイビジョン放送を高画質のまま劣化なしに録画できます。

	地上デジタル放送（HDレート）	BSデジタル放送（HDレート）
HVR-HD1000EX	約102時間	約82時間

ハードディスクならではの瞬間高速頭出し

高速なハードディスクを搭載することで、テープを使うD-VHSビデオデッキに比べてアクセススピードが飛躍的にアップ、瞬間高速頭出しを実現しました。

見たい番組を素早く探す

・録画した番組のリストから見たい番組を探し再生する事ができます。
【Rec-POTメニュー】(30ページ)
・専用リモコンによる早送り／早戻し（3/6/12/24/100倍速）、約30分飛ばして再生するスキップ機能を搭載しています。
【再生する】(43ページ)
・サブメニューより録画した番組の並び替え（タイトル順・録画順表示ができます。）
（※再生を停止すると元の録画順に戻ります。）

番組をD-VHSビデオデッキにデジタル移動

本製品に録画した番組を、D-VHSビデオデッキに移動することができます。
【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(27, 48ページ)

プレイリスト機能（編集機能）搭載

お気に入りのシーンだけを集めることができます。
録画した番組を見ながら範囲選択をして、他のRec-POTやD-VHSビデオテープへ移動することができます。
【番組を編集する】(51ページ)

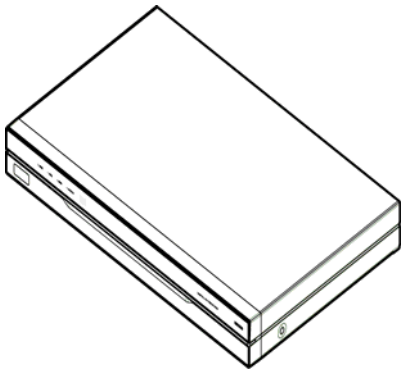
i.LINKケーブル１本で簡単接続

i.LINK機器のため、i.LINKケーブル１本で簡単に接続することができます。

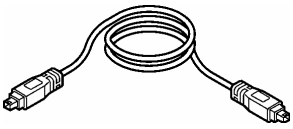
内容物を確かめる

ここでは、本製品の内容物をご案内します。

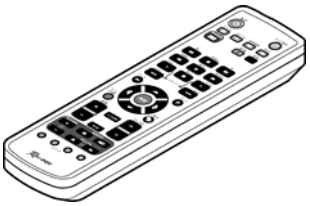
☐ **ハードディスクレコーダー（1台）** [Rec-POT]



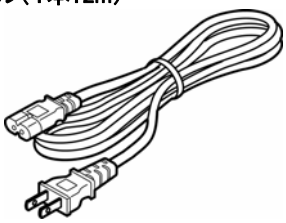
☐ **i.LINKケーブル（1本：1.2m：S400）**



☐ **専用リモコン（1個）**



☐ **電源ケーブル（1本：2m）**



☐ **リモコン用乾電池（2本）**
［単3形乾電池：動作確認用］

☑ **Rec-POT EXシリーズ取扱説明書（1冊：本書）**

ユーザー登録をしてください

ユーザー登録は、以下のホームページで行えます。

http://www.iodata.jp/regist/

▼ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。
シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。

※ シリアル番号(S/N)は、本製品の背面に貼られているシールに記載された12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。

参考

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

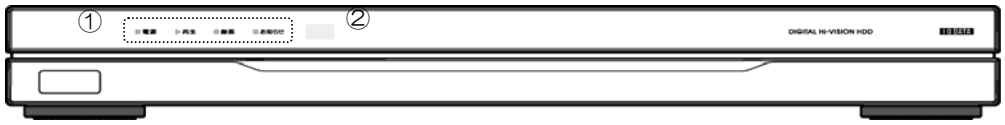
この取扱説明書のイラスト・画面について
実物と若干異なる場合があります。

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません
チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

各部の名称

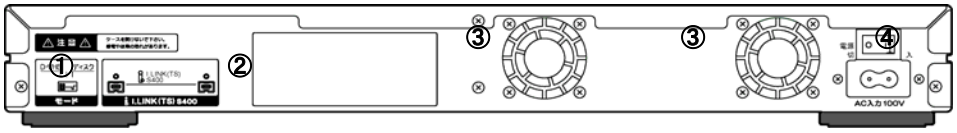
ここでは、本製品の各部分の名称とその機能を説明します。

前面



番号	名称	説明
①	**状態ランプ** ■電源 ▶再生 ■録画 ■お知らせ	本製品の状態を表します。 ● **電源**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【電源状態について】(20ページ) 消灯： 電源が入っていません。 オレンジ点滅： 起動準備中です。 オレンジ： 電源状態が「待機」になっています。 青： D-VHSモードで、電源状態が「ON」になっています。 紫： ディスクモードで、電源状態が「ON」になっています。 ● **再生** 再生状況を表します。 緑： 再生中／メニュー表示中です。 赤： プログラム移動中です。 オレンジ： プログラム再生中／プログラム保存中です。 消灯： 再生していません。 ● **録画** 録画状況を表します。 赤： 録画中です。 緑： 全番組削除モードになっています。 緑⇔赤点滅： 全番組削除中です。 消灯： 録画していません。 ● **お知らせ** 本製品の状態を表します。 消灯： ディスク残量は余裕があります。 緑： 押したユニット番号ボタンに対応しています。 緑点滅： 押したユニット番号ボタンに対応しています。 赤： ディスク残量が15%を切っています。 赤点滅： ディスク残量がないか、番組数が511個になっています。 緑⇔赤点滅： 全番組削除モードになっています。
②	**リモコン受光部**	リモコン信号を受信します。 リモコンをお知らせランプの右側に向けて操作してください。 ※ リモコン受光部は、実際には見えにくくなっています。

背面



番号	名称	説明
①	**モードスイッチ**	本製品のモードを設定できます。　【モードを切り換える】(16ページ) D-VHS：本製品はD-VHSモードに設定されます。（初期設定） ディスク：本製品はディスクモードに設定されます。 ※ スイッチ中央は使いません。 スイッチ中央に設定しないでください。
②	**i.LINK端子**	i.LINKケーブルで、チューナーや他のi.LINK機器と接続します。
③	**ファン**	内部の温度上昇を防ぎます。
④	**電源スイッチ**	本製品の電源を入れます。

注意

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます

ディスクモードでお使いのときにディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えないでください。

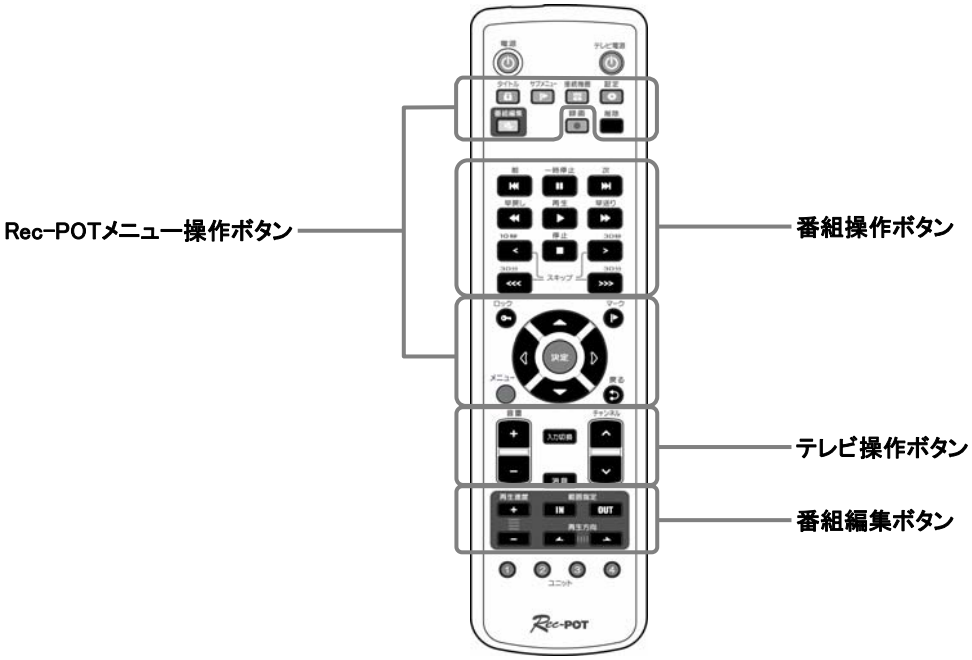
D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

禁止

ファンの通風孔をふさいだり、異物を差し込んだりしない

内部の温度が異常に上がったり、ファンが破損して、故障の原因となります。

専用リモコン



名称	説明
[電源]ボタン	本製品の電源状態を切り換えます。 【電源状態について】(20ページ) ※ 番組の録画／再生中やRec-POTメニュー表示時には使えません。
[テレビ電源]ボタン	お使いのテレビの電源を入／切します。 【お手持ちのテレビを操作できるようにする】(22ページ)
[録画]ボタン	視聴中の番組を録画できます。 【録画する】(40ページ)
Rec-POTメニュー操作ボタン	Rec-POTメニューを操作するのに使うボタンです。 【Rec-POTメニュー】(30ページ)
番組操作ボタン	番組を再生しているときなどに使います。 【再生する】(43ページ)
テレビ操作ボタン	テレビの操作に使います。 【お手持ちのテレビを操作できるようにする】(22ページ)
番組編集ボタン	番組の編集に使います。 【番組を編集する】(51ページ)
ユニット番号ボタン	本製品を２～４台お使いの時、操作する本製品を選びます。 また、約2秒押すことで操作音のON/OFFを行います。 ※ Rec-POTメニューの操作音は、これに関係なく鳴ります。 【機器設定】(37ページ)

参考

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません

チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

使えるようにしよう

モードを切り換える.....16

設置する.....18

接続する.....19

電源を入れる／切る.....20

専用リモコンを準備する.....21

チューナーに登録する.....23

モードを切り換える

まず、本製品をチューナーに合ったモードに設定します。
（出荷時に、本製品は D-VHS モードになっています。）

モード

本製品は、モードを切り替えることで動作が変わります。

■ ディスクモード

チューナーは、本製品を「外付けハードディスク」として認識します。
チューナーのリモコンだけで操作を行います。添付のリモコンから操作することはありません。
追っかけ再生などのチューナーが持つ機能は、このモードでのみ使うことができます。

■ D-VHSモード

チューナーは、本製品を「D-VHSビデオデッキ」として認識します。
添付のリモコンを使ってRec-POTメニューを表示したり、本製品の番組編集機能を行えます。

モードの切り換え方

注意

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます
ディスク残量が1%以下の場合、ディスクモードからD-VHSモードに切り換えないでください。
D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

1 本製品の電源が入っている場合は、切ります。

【電源を入れる／切る】(20ページ)をご覧ください。

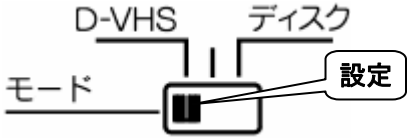
2 お使いのチューナーが対応しているモードを確認します。

弊社Webページの対応表をご覧ください。対応表には以下の情報が記載されています。

・各チューナーが対応しているモード
・各チューナーでの制限情報

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/recpot/listr/

3 **モードを換える必要がある場合は、背面のモードスイッチを設定します。**



注意

モードスイッチを中央に設定しないでください

本製品では、モードスイッチの中央は使いません。

モードスイッチは必ず「ディスク」か「D-VHS」に設定してください。

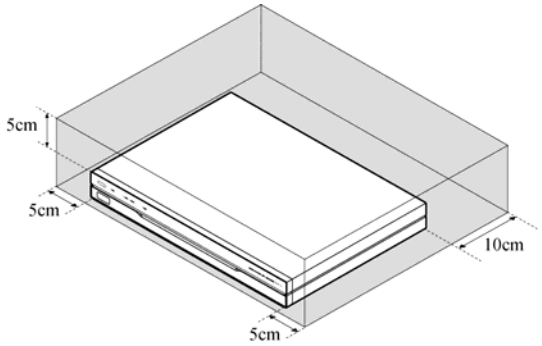
モードを切り換えた場合、チューナーへの登録を確認してください

【チューナーに登録する】(23ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

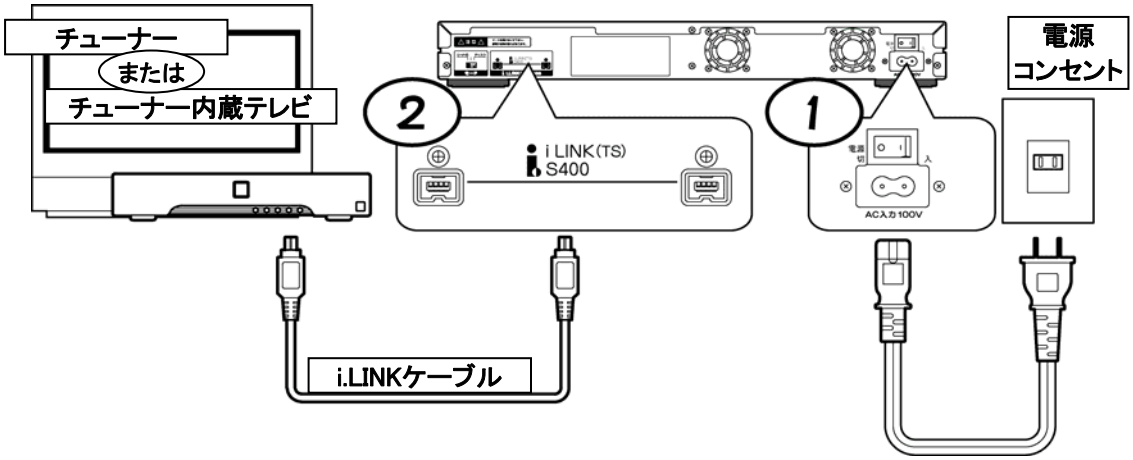
設置する

次のような場所に設置してください。

- 左右 5cm, 上面 10cm, 背面 10cm 以上を空けて設置できる場所
- 風通しの良い場所（密閉されていない場所）
- 水平で安定した場所
- 本製品の脚の間に何も入らない場所



接続する



1 **本製品をコンセントに接続します。**

注意

コンセントから取り外すときは・・・

必ず、本製品の電源を切ってから行ってください。

電源の切り方については、【電源を入れる／切る】(次ページ)をご覧ください。

2 **お使いのチューナーと本製品を、添付のi.LINKケーブルで接続します。**

他にi.LINK機器が接続されている場合は、その後に接続します。

参考

どちらのi.LINK端子に接続してもかまいません

i.LINK端子はどちらも同じものです。どちらに接続しても問題なくお使いいただけます。

チューナー側で接続に注意・制限事項がある場合があります

チューナーの取扱説明書も同時に参照しながら、接続してください。

パソコンに接続しても使えません

本製品は、著作権保護機能に対応しており、録画された番組は暗号化されています。
そのため、パソコンと接続してお使いいただけません。あらかじめご了承ください。

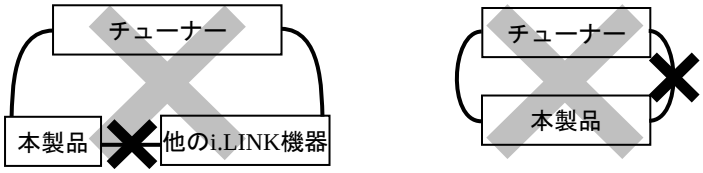
添付のi.LINKケーブルを紛失された場合

S400対応のi.LINKケーブルをご購入ください。

注意

ループ接続をしないでください

i.LINKでは、輪になるように接続すると正しく動作しません。
輪にならないように接続してください。

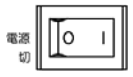
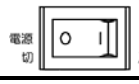


電源を入れる／切る

接続を終えたら、本製品の電源を入れてください。

電源を入れる／切る

電源は、背面の電源スイッチで入／切します。

電源操作	電源スイッチ	説明
入れる	入 	電源が入ります。 本製品の前面にある電源ランプが点灯します。 青:D-VHSモード　電源状態「ON」 紫:ディスクモード　電源状態「ON」 本製品が使えるようになるまで、約20秒ほどかかります。
切る	切 	必ず、電源状態を「待機」にしてから切ってください。 「待機」にせずに電源を切ると、録画情報が消えるなどの問題が発生するおそれがあります。

注意

録画予約をしている時は、電源を切らないでください

本製品の主電源を切ってしまうと、録画予約などで自動的に本製品を起動できません。
そのため、録画予約などの失敗の原因となります。

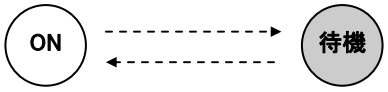
電源状態について

電源状態には、「ON」「待機」の２つがあります。

状態	電源ランプ	説明
ON	青(D-VHSモード) 紫(ディスクモード)	再生、録画などをすることができます。
待機	オレンジ	専用リモコンの電源ボタンを押したり、チューナーから 予約録画の連絡が来ると、電源状態が「ON」になります。

電源状態の変化

専用リモコンの電源ボタンやチューナーからの操作で変化します。



参考

専用リモコンの電源ボタンは下記の場合は使えません

- 番組を録画／再生している
- 番組を編集(51ページ)している
- Rec-POTメニュー(30ページ)を表示している
- ディスクモードで使用している。

省電力機能

チューナーから認識されず、操作がない状態で約10分経過すると、本製品は「待機」状態になります。

専用リモコンを準備する

専用リモコンに電池を入れる方法やテレビを操作できるようにする方法を説明します。

参考

専用リモコンは、ディスクモードでは使いません

チューナーのリモコンを使って、操作を行ってください。

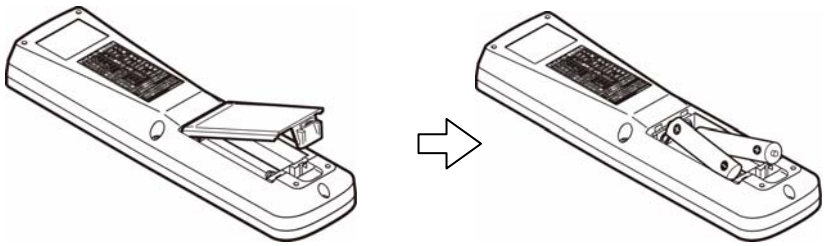
本製品2台を操作するための設定

本製品のメニューから行うことができます。

【機器設定】(37ページ)をご覧ください。

電池を入れる

下の図のように電池を入れてください。



注意

以下のことにご注意ください

リモコンの動作不良および故障の原因となります。

また、【必ずお守りください】(3ページ)の内容もご覧ください。

・極性（＋，－）を逆にしない
・指定された電池（単3形乾電池）以外を使わない
・交換の際は、電池を2本とも交換する
・充電式電池を使わない

参考

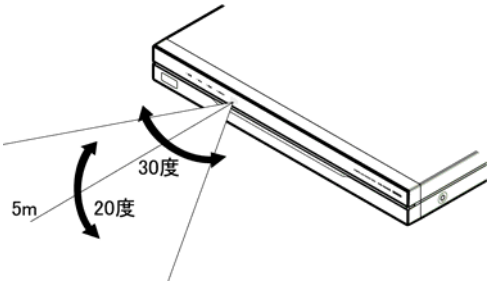
電池を入れ換えたときは、リモコンのテレビ操作を設定し直してください

電池を入れ換えると、リモコンのテレビ操作の設定が「松下-2」に戻ります。

【お手持ちのテレビを操作できるようにする】(22ページ)をご覧になり、設定してください。

専用リモコンの操作可能な範囲について

本製品のリモコン受光部より、距離は正面5m、左右に30度、上下に20度以内で操作してください。



お手持ちのテレビを操作できるようにする

リモコンで、お手持ちのテレビを操作できるようにします。

1 下表を参考に、お手持ちのテレビに合うボタンを押します。

⇒ リモコンが設定されます。これで、お手持ちのテレビを操作できるようになりました。

テレビのメーカー	押すボタン	テレビのメーカー	押すボタン
エプソン	テレビ電源 を押しながら 30秒 >	日本ビクター	テレビ電源 を押しながら ロック
三洋-1	テレビ電源 を押しながら 10秒 <	パイオニア	テレビ電源 を押しながら 30分 <<<
三洋-2	テレビ電源 を押しながら 停止 ■	日立	テレビ電源 を押しながら 早送り ▶▶
シャープ	テレビ電源 を押しながら ▲	松下-1	テレビ電源 を押しながら 次 ▶▶|
ソニー	テレビ電源 を押しながら 一時停止 ❚❚	松下-2(初期設定)	テレビ電源 を押しながら 早戻し ◀◀
東芝	テレビ電源 を押しながら 再生 ▶	三菱	テレビ電源 を押しながら 30分 >>>

参考

先にテレビ電源ボタンを押してください

テレビ電源ボタンを先に押すようにしないと、設定されません。

※ 本機のリモコンでは、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できないことがあります。
テレビに付属のリモコンをお使いください。

2 リモコンでお手持ちのテレビを操作できるか、ご確認ください。

ボタン	説明	ボタン	説明
テレビ電源	テレビの電源を入／切します。	入力切換	テレビの入力を切り替えます。
音量 + −	テレビの音量を調節します。	消音	テレビを消音（ミュート）します。
チャンネル ^ v	テレビのチャンネルを選びます。		

参考

テレビによっては、操作できないことや、一部ボタンを使えないことがあります

ご了承ください。

チューナーに登録する

本製品を使うには、「i.LINK 機器」としてチューナーに登録する必要があります。
通常は、本製品を接続するだけで登録されます。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、登録されているかどうかを確認しましょう。



本製品は、下のように登録されます

ディスクモードの場合、本製品はハードディスクレコーダーとして動作します。
D-VHSモードの場合、本製品はD-VHSビデオデッキとして動作します。
モードによって、チューナーに登録される名前が異なります。

正しく本製品が登録されない

全てのi.LINK機器の登録を削除してください。

MEMO

使ってみよう（ディスクモードの場合）

録画する 26

録画の仕組み 26

再生する 27

D-VHS ビデオデッキに番組を移動する 27

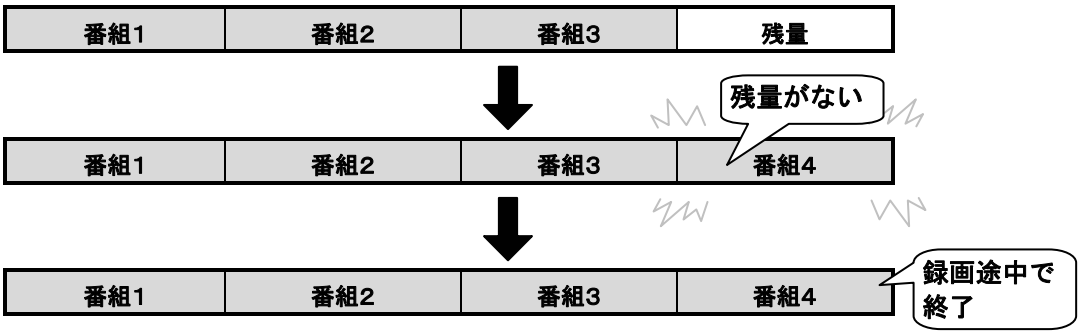
録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

録画の仕組み

録画するためには、本製品のディスク残量が必要です。



注意

録画時間が短すぎると、正しく録画できない場合があります

正しく録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。

また、2分未満の録画では、正しいタイトルで記録されないことがあります。

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えないでください。

D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

参考

録画できる時間の目安

下記の録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

地上デジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD1000EXの場合：約102時間

BSデジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD1000EXの場合：約82時間

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大511までとなります。

1タイトルの最長録画時間は12時間です。

ディスク残量が少ない場合

チューナー側の操作で不要な番組を削除してください。

再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の再生を行ってください。

D-VHSビデオデッキに番組を移動する

本製品から D-VHS ビデオデッキへ番組を移動する方法について説明します。

番組移動（ムーブ）機能があるチューナーの場合

チューナーの番組移動（ムーブ）機能を使って、番組を移動します。
各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組を移動してください。

番組移動（ムーブ）機能がないチューナーの場合

D-VHSモードで番組を移動する必要があります。
D-VHSモードに切り換えて、【D-VHSビデオデッキに番組を移動する】(48ページ)をご覧ください。
D-VHSモードに対応していないチューナーの場合は、作業を行えません。ご了承ください。

注意

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えると番組が削除されます

ディスク残量が1%以下の場合、D-VHSモードに切り換えないでください。
D-VHSモードにすると、ロックされていない一番古い番組が自動的に削除されるおそれがあります。

チューナーへの登録を確認してください

【チューナーに登録する】(23ページ)をご覧になり、本製品を登録してください。

MEMO

使ってみよう(D-VHSモードの場合)

Rec-POTメニュー 30
Rec-POTメニューを開く 30
Rec-POTメニューの種類 31
タイトルリスト 32
サブメニュー 34
接続機器設定 35
機器設定 37
プレイリストモード 39

録画する.....40
録画の仕組み 40

再生する.....43

番組を削除する.....45

番組を保護する[ロック].....46
ロックの仕組み 46
番組をロック／解除する 46
今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能） 47
全ての番組のロックを解除する ... 47

D-VHSビデオデッキに番組を移動する.....48

番組を編集する.....51

Rec-POTメニュー

本製品には、便利にお使いいただくための「Rec-POT メニュー」が搭載されています。

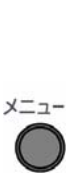
参考

Rec-POTメニューはデータ放送番組として作られています

そのため、データ放送番組としてチューナーに受信されるまで数秒～十数秒かかります。

Rec-POTメニューを開く

専用リモコンの［タイトル］ボタンを押してください。
⇒Rec-POTメニューの「タイトルリスト」が表示されます。

ボタン	説明	
	Rec-POTメニューのタイトルリストを表示・閉じます。	
	Rec-POTメニューのタイトルリストを表示中ならば、サブメニューを表示・閉じます。	
	Rec-POTメニューの接続機器設定を表示・閉じます。	
	Rec-POTメニューの機器設定を表示・閉じます。	
	Rec-POTメニューまたは、接続機器設定、機器設定を表示している	Rec-POTメニューのタイトルリストを表示します。
	Rec-POTメニューのタイトルリストを表示している	Rec-POTメニューのサブメニューを表示・閉じます。
	Rec-POTメニューを閉じます。	

参考

メニューの表示、切り換えには時間がかかります

しばらくお待ちください。

リモコンが反応しない／Rec-POTメニューが表示されない

・本製品に設定されたユニット番号(37ページ)とリモコンの設定が違う可能性があります。
ユニット番号ボタン（❶ ❷ ❸ ❹）を操作してみてください。

・チューナーによっては、i.LINK機器を使えるようにチューナーを設定してからでないと本製品が動作しないものがあります。
【チューナーに登録する】(23ページ)の作業を行ってください。

・本製品がD-VHSモードではない可能性があります。
【モードを切り換える】(16ページ)をご覧になり、お使いのモードをご確認ください。

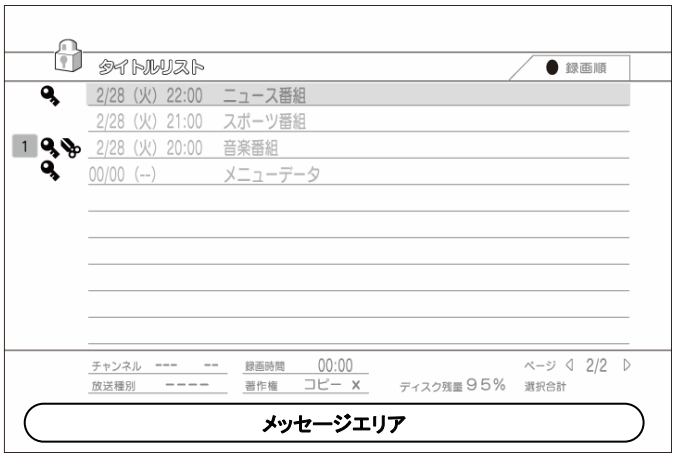
Rec-POTメニューの種類

Rec-POTメニューには「タイトルリスト」，「サブメニュー」，「接続機器設定」，「機器設定」，「プレイリストモード」の５つがあります。
それぞれのメニューでできる操作が異なります。

メニュー	ページ	説明
タイトルリスト	次	録画した番組の再生や番組のロックを行います。
サブメニュー	34	本製品から保存や移動を行うメニューを表示します。
接続機器設定	35	本製品へ接続するi.LINK機器の設定を行います。
機器設定	37	本製品の設定を行います。
プレイリストモード	39	録画した番組の好きな部分だけを再生するようにします。

タイトルリスト

録画した番組を好きな順番で再生、保存（ダビング）、移動します。



■ 番組一覧

項目	説明
マーク 1	番組がマークされた順に再生が行われます。 マークは、最大１６個まで付けることができます。 マークしただけでは再生されません。 再生はサブメニューからおこないます。
ロック	番組がロックされているかどうかを表示します。ここではロックできません。 「プログラム移動」以外でマークとロックが重なった場合、表示されません。 【番組を保護する［ロック］】(46ページ)
録画開始日時	番組の録画開始日時を表示します。
編集済マーク	番組が編集されている場合に表示されます。　【番組を編集する】(51ページ)
タイトル	番組のタイトルを表示します。
前	先頭ページへ移動します。
次	最終ページへ移動します。
早戻し	3ページ戻します。
早送り	3ページ進めます。

■ 情報

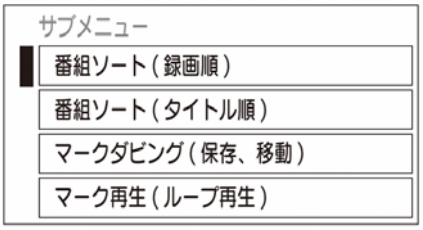
項目	説明
チャンネル	番組のチャンネルと放送画質（SD:デジタル標準画質／HD:デジタルハイビジョン画質）を表示します。
録画時間	番組の総時間を表示します。 ※ 編集された番組(51ページ)も、編集前の時間が表示されます。
放送種別	番組の放送種別を表示します。 ＢＳデジタル：BSデジタル放送 １１０度ＣＳ：110度CSデジタル放送 ＣＳデジタル：スカイパーフェクＴＶ！ 地上デジタル：地上デジタル放送 ーーーー：不明な放送種別
著作権	番組の著作権情報を表示します。 コピー ○：コピー・移動を行えます。 コピー △：コピー可能な本編の前後に、コピー不可能な番組が含まれています。 そのため、コピーすることができません。移動のみ行えます。 コピー ×：移動のみ行えます。
ディスク残量	ディスク残量がどれくらいあるかを表示しています。 番組をロックするたびに減っていきます。
選択合計	マークした番組の再生時間を合計した時間が表示されます。 また、プログラム再生が繰り返されるかどうかを表示します。
ページ	現在のページ／全体のページ数を表示します。
メッセージエリア	問題があったとき、画面下部にメッセージを表示します。 【Rec-POTメニューメッセージ】（76ページ）



再生	【再生する】(43ページ)
削除	【番組を削除する】(45ページ)
ロック（保護）	【番組を保護する[ロック]】(46ページ)
編集	【番組を編集する】(51ページ)

サブメニュー

タイトルリストを並び替え、再生、保存（ダビング）、移動します。



■メニュー一覧

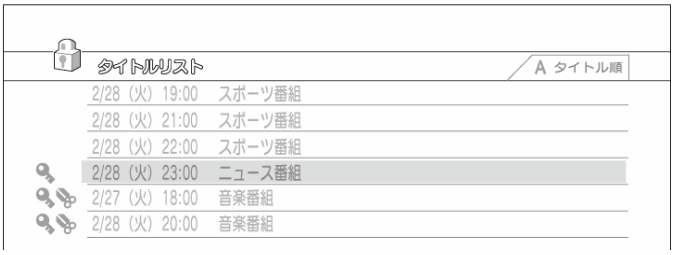
項目	説明
番組ソート（録画順）※	番組を録画した順に並べ替えます。以下の例を参照
番組ソート（タイトル順）※	番組タイトルの文字コード順に並べ替えます。以下の例を参照
マークダビング（保存・、移動）	マークした番組を保存、移動をおこないます。
マーク再生（ループ再生）	マークした番組を連続再生します。

※メニューを停止すると、番組は録画順に戻ります。

録画順の例

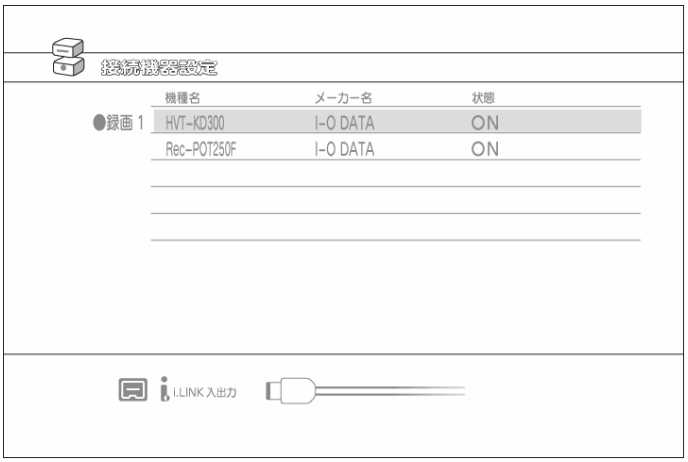


タイトル順の例



接続機器設定

i.LINK機器の設定を行います。



■ 機器一覧

機器は、最大５台まで表示されます。

項目	説明
●録画 1	入力用に設定された機器として扱われます。
機種名	機器の名称を表示します。
メーカー名	機器のメーカー名を表示します。
状態	機器の電源状態を表示します。

参考

入力機器

入力機器は、１台設定できます。
ハイビジョンカメラの映像を保存・書き戻す場合は、その都度切り換えてください。

入力機器　本製品に映像を入力する機器を設定します。
通常は、チューナーを設定してください。

チューナーが認識できる機器の台数にご注意ください

Rec-POTメニューの接続機器設定に表示される機器は最大５台ですが、チューナーが認識できる機器の台数により、さらに表示される機器の台数が少なくなることがあります。
チューナーが認識できる機器の台数については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

■ 接続機器を設定する

本製品へ番組を保存／移動する機器を、「接続機器」と呼びます。

1 機器を接続します。

① 機器の電源を入れます。

② 本製品と機器を接続します。

参考

表示される接続機器

- 入力機器になるもの
  - ・テレビ、チューナー　　・HDVカメラ
- その他（表示されますが、操作できません。本製品と同時につながないでください。）
  - ・DVカメラ

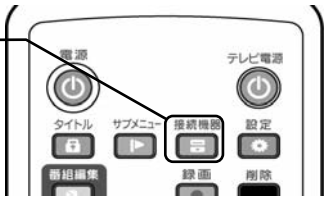
注意

接続にご注意ください

【接続する】(19ページ)をご覧になり、機器の接続を行ってください。

2 Rec-POTメニュー「接続機器設定」を表示します。

専用リモコンの［接続機器］ボタンを押します。



3 入力機器を選びます。

カーソルボタンでカーソルを移動します。

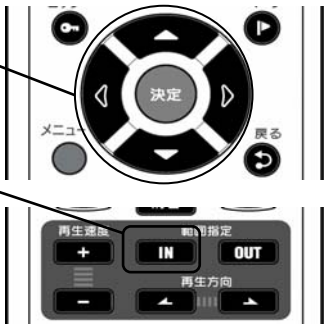
4 入力機器を設定します。

［IN］ボタンを押します。

⇒接続機器が設定されました。

選んだ機器のIN欄に ●録画 1 が表示されます。

この機器からの映像が録画されます。



機器設定

本製品の設定を行います。



■ 設定

項目	説明
録画時のオートロック	［ON］にすると、録画した番組が自動的にロックされます。 【番組を保護する［ロック］】(46ページ)
メニュー画面オートOFF	［３分］にすると、３分間操作を行わないとメニューが閉じられます。
早送り･早戻し動作設定	［早送り］［早戻し］ボタンを押した時の動作を設定します。 ［可変］：3～100倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。 詳しくは、次ページの参考をご覧ください。 ※ チューナーによっては、スピード変化時に画面が止まったり、映像がカクカクする場合があります。その場合、［×12］［×24］に設定してください。 ［×12］：12倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。 ［×24］：24倍の再生スピードで早送り・早戻しを行います。
番組編集の結果を反映する	［ON］にすると、編集結果が有効になり、編集済マーク（🔧）が表示されます。
ユニット設定	複数の本製品をお持ちの場合に、リモコンを使い分けるために設定します。色が付いている番号のユニット番号ボタンで操作できます。 設定は、メニューを閉じた後で有効になります。 初期設定では、どのユニット番号ボタンを押しても操作できるように、すべての番号に色が付いています。

項目	説明
ファン動作モード	内部を冷やすファンの動作を設定します。 番号が大きくなるほど、冷却効果は高くなり、ファンの動作音は大きくなります。 ※ ファンの動作は内部温度によりON/OFFされるため、内部温度が低い場合はファンが動作しません。 なお、ファン動作モードの設定に関わらず、内部温度が安全な範囲を超えた場合には、ファンが動作します。



早送り･早戻し動作設定[可変]時の動作

それぞれ3、6、12、24、100倍の5段階でスピードが変化します。

・早送り中に［早送り］ボタンを押す、または早戻し中に［早戻し］ボタンを押すたびに、スピードが増していきます。

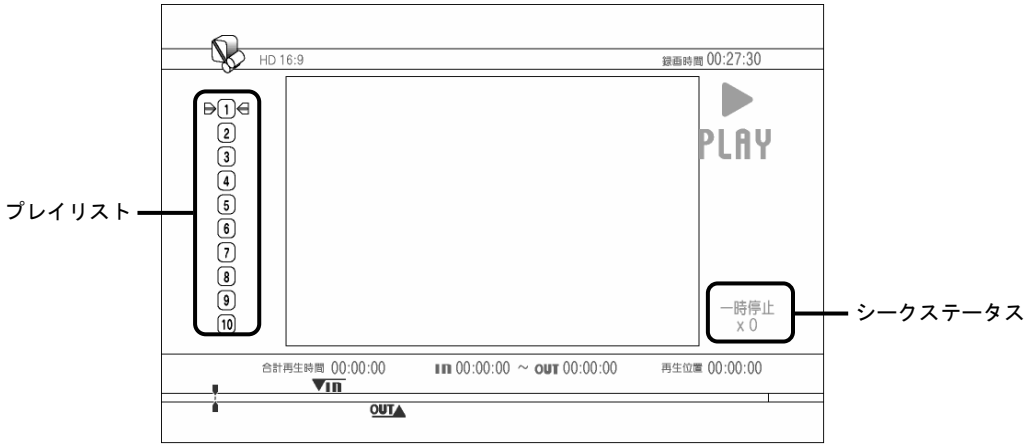
・早送り中に［早戻し］ボタンを押す、または早戻し中に［早送り］ボタンを押すと、それぞれ押したボタンに対応した状態の3倍スピードとなります。

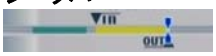
・途中で再生ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

ボタン	スピード					
	通常再生	▶▶ 3倍	▶▶ 6倍	▶▶ 12倍	▶▶ 24倍	▶▶ 100倍
▶▶	▶▶ 3倍	▶▶ 6倍	▶▶ 12倍	▶▶ 24倍	▶▶ 100倍	▶▶ 100倍
◀◀	◀◀ 3倍					
▶	通常再生					
	通常再生	◀◀ 3倍	◀◀ 6倍	◀◀ 12倍	◀◀ 24倍	◀◀ 100倍
▶▶	▶▶ 3倍					
◀◀	◀◀ 3倍	◀◀ 6倍	◀◀ 12倍	◀◀ 24倍	◀◀ 100倍	◀◀ 100倍
▶	通常再生					

プレイリストモード

番組の編集を行います。
タイトルリストで番組を選んで、リモコンの［番組編集］ボタンを押すことで、この画面になります。



項目	説明
録画時間	番組の録画時間を表示します。
プレイリスト	プレイリストを表します。 作成されたプレイリストは、数字が黄色くなります。 プレイリストは、最大１０個まで登録できます。
画面	番組の映像を表示します。
シークステータス	現在の再生状態を表します。
合計再生時間	確定したプレイリストの時間を合計したものを表示します。
IN ～ OUT	プレイリストの開始点と終了点を表示します。
再生位置	画面に表示されている映像の再生位置を表示します。
シークバー 	再生している位置やプレイリストの位置を表示します。  ････再生している位置です。 ･･･確定したプレイリストです。 IN ･････選択されたプレイリストの始点です。 OUT ･････選択されたプレイリストの終点です。



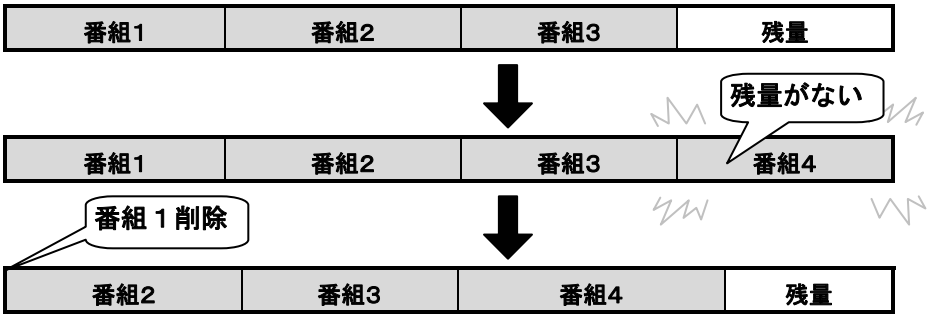
編集　　【番組を編集する】(51ページ)

録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作か リモコンの［録画］ボタンで行います。

録画の仕組み

録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えた場合、古い番組から順に削除していきます。



注意

録画時間が短すぎると、正しく録画できない場合があります

正しく録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。
また、2分未満の録画では、正しいタイトルで記録されないことがあります。

参考

録画できる時間の目安

下記の録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

地上デジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD1000EXの場合：約102時間

BSデジタル放送

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　HVR-HD1000EXの場合：約82時間

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大511までとなります。
（1タイトルの最長録画時間は12時間となります。）

現在録画中の番組は削除されません

ディスク残量が無くなったので、番組先頭から上書きされるということはありません。
録画を続けられなくなったら、本製品は録画を終了します。

削除されたくない番組を保護する

【番組を保護する［ロック］】(46ページ)をご覧ください。

■ 見ている番組を録画する(Rec-POT操作)

テレビ・チューナーの操作

1 操作パネルを表示します。

⇒操作パネルを表示する方法については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

Rec-POT の操作

2 [接続機器]ボタンを押します。

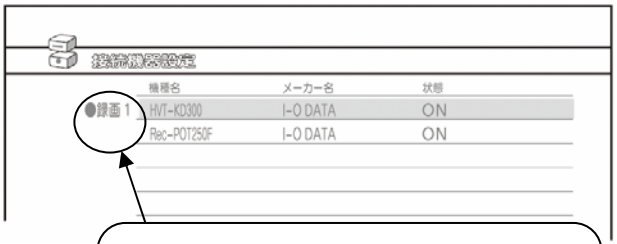


⇒接続機器設定画面が表示されます。

3 お使いチューナーを入力機器に設定し、画面を閉じます。

チューナーを選び[IN]ボタンを押します。

設定したら[接続機器]ボタンを一度押し、画面を閉じます。



入力機器設定アイコン
入力機器に設定された接続機器には、このアイコンが表示されます。





テレビ・チューナーの操作

4 録画したい番組を表示します。

アナログ放送を受信・表示している場合は、録画できません
チューナーでデジタル放送を受信している場合のみ、録画できます。
ただし、エンコーダー内蔵D-VHSを除きます。

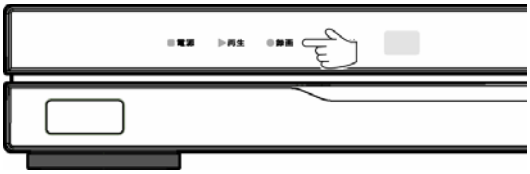
以下の場合、一部のチューナーでは録画できません
・アナログ機器への予約録画動作をしている
・視聴予約動作などにより、映像を表示している

チューナーに複数のチューナーが搭載されていても、録画するチューナーは選べません
ご了承ください。

Rec-POT の操作

5 [録画]ボタンを押します。

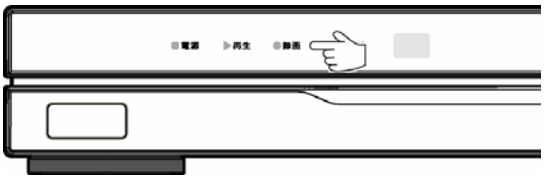
⇒表示されている番組の録画が開始されます。
本製品の録画中ランプが点灯します。





6 録画を終える時は、[停止]ボタンを押します。

⇒録画が終了します。
本製品の録画中ランプが消灯します。





再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作 か Rec-POT メニューの操作で行います。
Rec-POT メニューでは、番組を選んで再生する通常の再生と、再生する順番を選んでから連続で再生する「プログラム再生」を行えます。

■ 通常再生する

Rec-POT の操作

1 **[タイトル]ボタンを押します。**

⇒タイトルリストが表示されます。



2 **再生したい番組を選びます。**

カーソルボタンで番組を選び、[決定]ボタンを押します。
⇒選んだ番組が再生されます。





選んだ番組の再生が終わったら
次に新しい番組を再生します。
最新の番組を再生し終えたら、再生を終了します。

再生時の操作

- 前：番組開始 10 秒以内なら前の番組に、それ以降なら番組の先頭に移動します。
- 次：次の番組に移動します。
- 一時停止：番組の再生を一時停止します。
- 再生：一時停止／早戻し／早送りを解除します。
- 早戻し／早送り：再生を早送り・早戻しします。スピードについては、機器設定画面で設定できます。詳しくは、Rec-POT の取扱説明書をご覧ください。
- 10秒／30秒／30分／30分：各時間だけ前後します。各時間分の移動ができない場合、ボタンは動作しません。
- 再生速度：再生速度を増減します。＋ ×100 ◆ ×24 ◆ ×12 ◆ ×6 ◆ ×3 ◆ ×1 ◆ ×1/2 －
- 停止：番組の再生を停止し、メニューに戻ります。
- 再生方向：再生中：再生方向を設定します。一時停止中：矢印方向にコマ送りします。

■ マーク再生する

Rec-POT の操作

1 **[タイトル]ボタンを押します。**

⇒タイトルリストが表示されます。

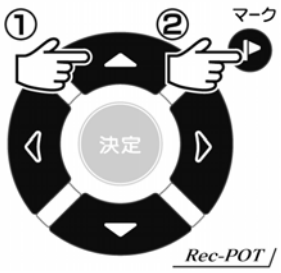


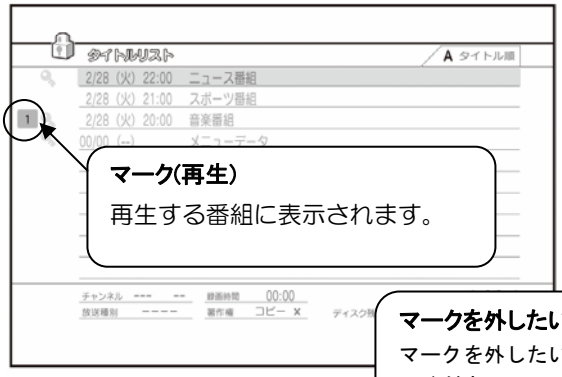
2 **再生する順にマークをつけていきます。**

カーソルボタンで番組を選び、[マーク]ボタンを押します。

⇒選んだ番組にマークが付きます。

最大16番組までマークを付けられます。



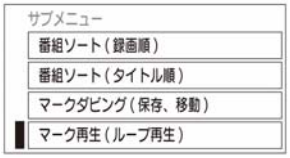


マークを外したいときは

マークを外したい番組を選んで、［マーク］ボタンを押してください。

3 **[サブメニュー]ボタンを押します。**

⇒「マーク再生(ループ再生)」を選択するとマークを付けた順に番組が再生されます。





再生方法はループ再生(繰り返し再生)のみとなります。

マークを全解除したいときは

「マークボタン」を長押しで(５秒以上)するとマークを全解除することができます。

表示される画面にしたがって操作してください。

番組を削除する

本製品に録画した番組を削除する方法を説明します。

Rec-POT の操作

1 **[タイトル]ボタンを押します。**

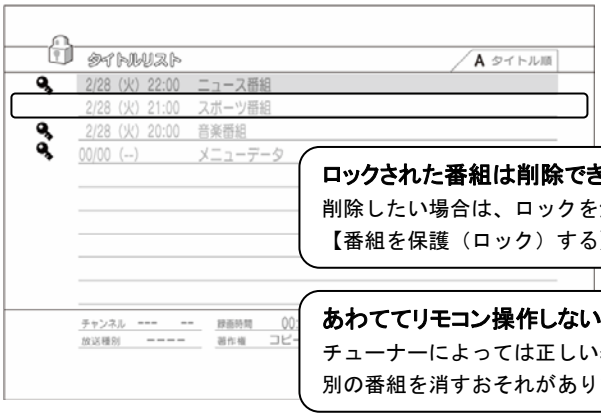
⇒タイトルリストが表示されます。



2 **削除したい番組を選びます。**

カーソルボタンで番組を選びます。





ロックされた番組は削除できません
削除したい場合は、ロックを解除してください。
【番組を保護（ロック）する】(次ページ)参照

あわててリモコン操作しない
チューナーによっては正しい表示ができず、誤った操作により、別の番組を消すおそれがあります

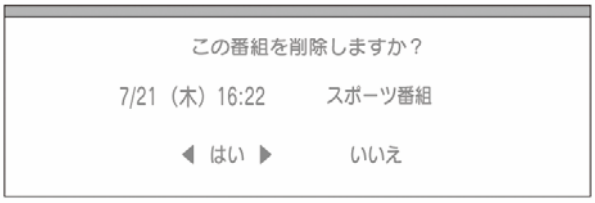
3 **[削除]ボタンを押します。**

⇒確認画面が表示されます。

4 **確認し、「はい」を選び、[決定]ボタンを押します。**

⇒選んだ番組が削除されます。





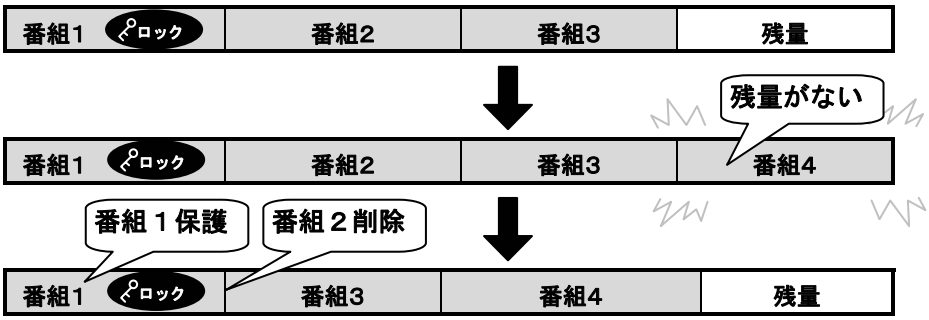


番組を保護する[ロック]

録画された番組を削除されないように保護することができます。
番組を削除されないようにすることを、「番組をロックする」と言います。

ロックの仕組み

番組をロックすると、その番組は削除されなくなります。
削除される順番が来た場合も、ロックされた番組はとばされます。



番組をロック／解除する

操作については、製品別使用ガイドをご覧ください。

Rec-POT の操作

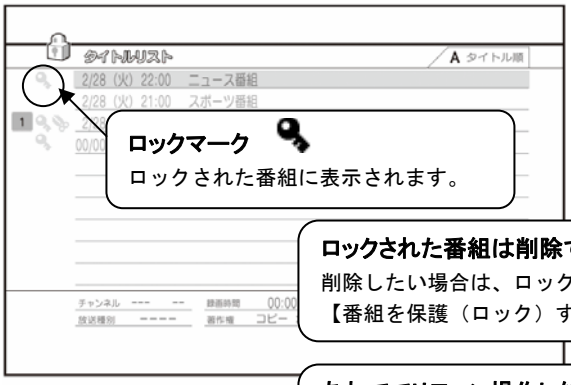
1 [タイトル]ボタンを押します。



⇒タイトルリストが表示されます。

2 番組をロックします。

カーソルボタンで番組を選び、[ロック]ボタンを押します。





ロックされた番組は削除できません
削除したい場合は、ロックを解除してください。
【番組を保護（ロック）する】(次ページ)参照

あわててリモコン操作しない
チューナーによっては正しい表示ができず、誤った操作により、別の番組を消すおそれがあります

ロックによるディスク残量の現象に注意してください
ロックをしすぎないようにご注意ください。
ロックされた番組は削除されなくなりますので、自由に録画できるディスク残量が減少します。ディスク残量が大幅に減少した場合、録画した番組がすぐに消えてしまうという現象が起こります。

今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能）

Rec-POTメニューの「機器設定」で設定します。
【機器設定】(37ページ)をご覧ください。

参考

番組をロックすると、ディスク残量が減ってしまいます
多くの番組をロックすると、Rec-POTメニュー「タイトルリスト」右下に表示されるディスク残量が少なくなります。ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

OFFにしても、すでにロックされた番組がロック解除されるわけではありません
オートロック機能のOFFと、すでにロックされた番組は関係ありません。
番組のロックを解除したい場合は、【番組をロック／解除する】(前ページ)または【全ての番組のロックを解除する】(本ページ下)の作業を行う必要があります。

全ての番組のロックを解除する

1 **本製品が再生／録画していないことを確認します。**
本製品前面の再生ランプと録画ランプが消灯していることを確認します。

2 **[ロック]ボタンを約5秒押し続けます。**
⇒ピッと音がし、ロック解除が開始されます。
もう一度ピーッと音がしたら、全ての番組のロックが解除されました。



タイトルリスト表示中では・・・・
タイトルリストが表示されている場合には、
[ロック]ボタンを５秒押すと、ロック解除の画面が表示されます。
その場合は、画面の指示にしたがってロックを解除してください。

D-VHSビデオデッキに番組を移動する

本製品から D-VHS ビデオデッキへの番組移動操作は、Rec-POT メニュー「サブメニュー」で行います。

注意

先頭部分を移動できない場合があります

D-VHSビデオデッキ側のテープスピードにより、先頭部分が録画されない場合があります。

番組の移動に失敗すると、番組が消えてしまう、分割されてしまうなどの問題が発生します

番組を移動する際は、十分注意して作業を行ってください。

また、番組の移動が完了すると、本製品から番組は削除されることにご注意ください。

参考

移動とは？

番組をD-VHSビデオデッキに移し替える方法です。ただし、本製品からその番組は消えてしまいます。

D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合

D-VHSビデオデッキからは移動中の番組を見ることはできません。

D-VHSビデオデッキから本製品への移動はできません

本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオデッキに保存されている番組を本製品に移動することはできません。



Rec-POTへの移動

移動先がRec-POTの場合、D-VHSモードに設定してください。

移動にかかる時間

移動する番組を再生するのと同じだけ時間がかかります。ご了承ください。

移動できない番組

・スカイパーフェクＴＶ！の「コピー ×(△)」となっている番組

・ロックされた番組

【番組を保護する［ロック］】(46ページ)

■ 番組を移動(ムーブ)する

i.LINK 接続録画機器の操作

1 **i.LINK接続録画機器をつなぎます。**

⇒機器の取扱説明書をご覧になり、正しくつないでください。。

2 **i.LINK接続録画機器の電源を入れます。**

3 **録画が十分に可能かどうか確認します。**

⇒録画可能な時間(テープ残量・ディスク残量)を確認します。

4 **Rec-POTに移動する場合、D-VHSモード(モード③)に設定します。**

さらにオートロック機能を有効にすることをおすすめします。

オートロック機能は、ディスク残量不足で移動した番組が消えてしまうのを防ぎます。

方法については、Rec-POTの取扱説明書をご覧ください。

テレビ・チューナーの操作

5 チューナーの予約全てを削除します。

番組の移動中に予約が動作すると、移動が中止されてしまう恐れがあります。

6 Rec-POT、「移動先のi.LINK接続録画機器」以外のLINCを取り外します。

7 つないでいるi.LINKケーブルを確認します。

破損したり、古くなっている場合、番組の移動に失敗する恐れがあります。

Rec-POT の操作

8 [タイトル]ボタンを押します。

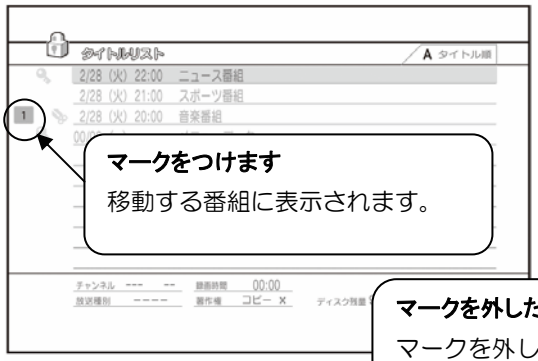
⇒タイトルリスト画面が表示されます。



9 移動する順にマークを付けていきます。

⇒カーソルボタンで番組を選び、[マーク]ボタンを押します。
最大16番組までマークを付けられます。





マークをつけます
移動する番組に表示されます。

マークを外したいときは
マークを外したい番組を選んで、［マーク］ボタンを押してください。

移動をする前に
下記の項目をお守りください。
守らない場合、移動が中断され、データが失われるおそれがあります。

- 移動中に他の機器を接続しない
- 移動中に各機器の電源をON/OFFしない
- 移動中に各機器の操作をしない

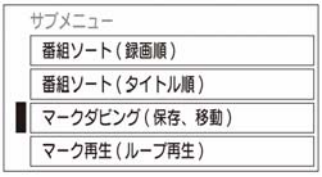
番組の移動には、番組を再生するのと同じだけの時間がかかります。ご注意ください。

10 [サブメニュー]ボタンを押します。

⇒プログラム移動が表示されます。



11 マークダビング（移動・保存）を選択し、決定ボタンを押します。



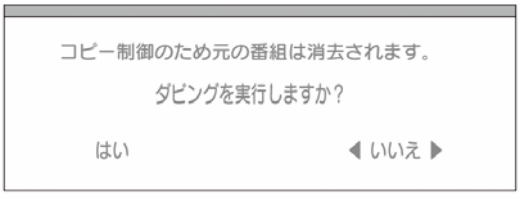


12 [ダビング先設定変更]でダビングする機器を選択して、「ダビング開始」を選択します。

※自動コマンド実行は「はい」のままにしてください。



13 以下のメッセージが表示されますので、よろしければ、はいを選択し、「決定」ボタンを押します。



※上記メッセージは、著作権情報に「コピー〇」がついた番組のみを、ダビングする場合は、表示されません。

番組を編集する

「プレイリスト機能」を使って、お気に入りのシーンだけを再生する方法を説明します。

プレイリスト機能のあらまし

「プレイリスト機能」とは、録画した番組をプレイリストモードにして画面を見ながら始点、終点を決め、お気に入りのシーンなど、録画した番組の中にある一部分の映像（プレイリスト）だけを集めることができるものです。
不要なシーン以外のお好みのシーンを選び、D-VHS ビデオデッキやもう一台の Rec-POT へ移動すれば、オリジナルコレクション作りに活用することもできます。

参考

容量が減ることはありません

プレイリスト機能では、番組の再生する部分を設定できます。これによって番組の容量が減ることはありません。容量を減らしたい場合は、プレイリストを設定した番組をプログラム保存/移動することでプレイリスト部分だけの番組にしてください。

注意

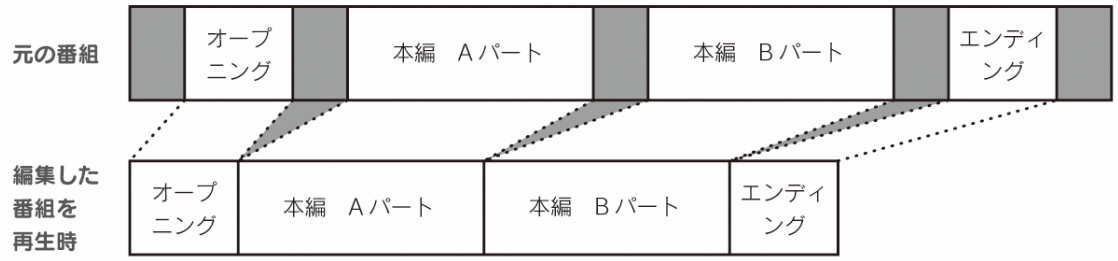
一部のソニー製チューナーをお使いの場合

スカイパーフェクＴＶ！の番組は編集できません。

プレイリストを作ってみよう

録画した番組から不要なシーンを除いて再生するように設定します。
また[番外]では、編集した番組を移動して容量を減らす手順も案内しています。

本製品に録画した番組の必要なシーンだけを再生するように編集する方法を説明します。
下の図のように再生したい部分を指定した、そこだけを再生できるように設定していきます。



■ ①編集画面を開く

Rec-POT の操作

1 **[タイトル]ボタンを押します。**

⇒タイトルリストが表示されます。



2 **編集したい番組を選びます。**

番組を選び[番組編集]ボタンを押します。

⇒プレイリストモードになります。

選んだ番組の編集ができます。

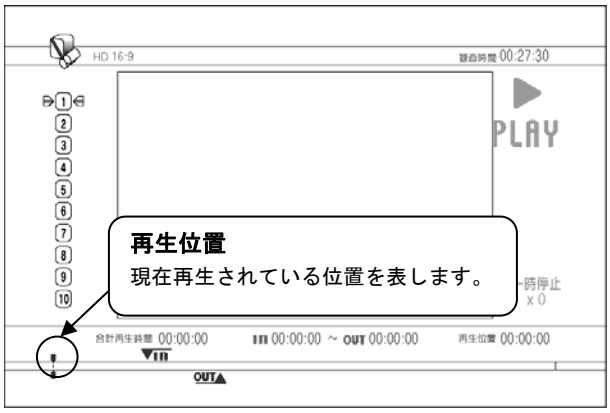




■ ②オープニングを設定する

Rec-POT の操作

1 オープニングの最初に移動します。





移動方法例

① まず、早戻し 早送り で近くに移動します。

② 一時停止 で一時停止します。

③ 再生方向 でコマ送りし、ちょうど良い場所まで移動します。

2 [IN]ボタンを押します。

⇒現在位置がプレイリストの始点となります。





3 オープニングの最後に移動します。

手順1と同様に移動します。

4 [OUT]ボタンを押します。

⇒現在位置がプレイリストの終点となります。

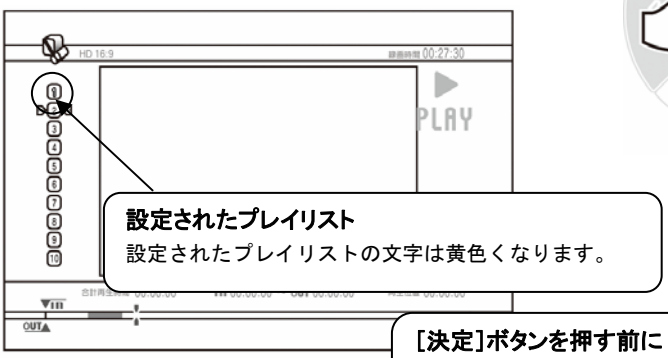




5 [決定]ボタンを押します。

⇒現在の始点と終点でプレイリストが設定されます。
設定されたプレイリストの番号は黄色くなります。
これで、最初のプレイリストが設定されました。





[決定]ボタンを押す前に
設［決定］ボタンを押すまでは、始点・終点の位置を変えることができます。

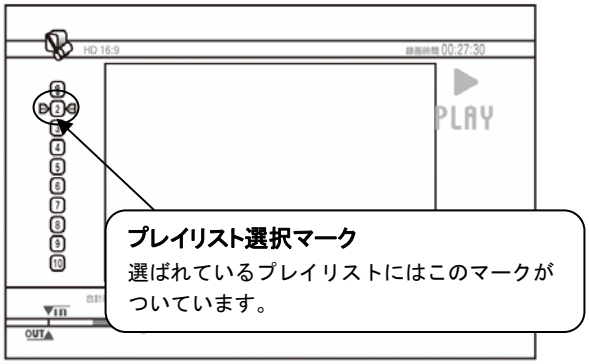
プレイリスト
始点と終点により設定されたシーンのこと。
編集された番組はプレイリストだけ再生するようになります。

■ ③本編、エンディングを設定する

Rec-POT の操作

1 新しいプレイリストを選びます。

カーソルボタンで黄色くなっていないプレイリストを選びます。
⇒新しいプレイリストが設定できます。





2 オープニングの時のように設定します。

本編、エンディングが全てプレイリストとして設定されるまで同じように繰り返します。
全て設定したら、完了です。

プレイリストの順番

プレイリストは番組の先頭から順に番号が付けられます。
そのため、以下の操作をするとプレイリストの番号が変わります。
・今あるプレイリストよりも前にプレイリストを設定した。
・末尾以外のプレイリストを削除した。

プレイリストの統合

設定したプレイリストの範囲が、以前に作ったプレイリストの範囲と重なった場合、2つのプレイリストの範囲を統合したプレイリストとして設定されます。
必要なプレイリストを統合してしまわないようにご注意ください。



■ ④編集した番組を再生する

Rec-POT の操作

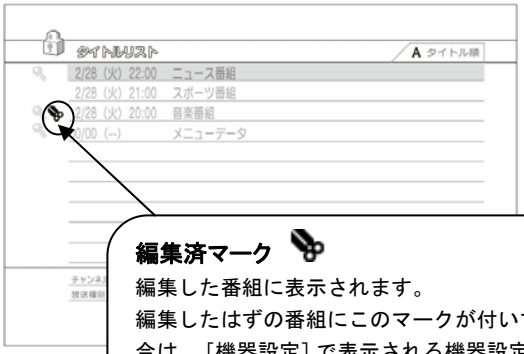
1 [タイトル]ボタンを押します。

⇒タイトルリストが表示されます。



2 再生したい番組を選びます。

カーソルボタンで番組を選び、[決定]ボタンを押します。
⇒選んだ番組が再生されます。



編集済マーク

編集した番組に表示されます。
編集したはずの番組にこのマークが付いていない場合は、[機器設定]で表示される機器設定画面の「番組編集の結果を反映する」が[OFF]になっている可能性があります。[ON]に設定してください。



本製品をディスクモードで使う場合

編集した番組をディスクモードで再生した場合は編集内容は反映されません。
ディスクモードで編集内容をご覧になりたい時は、[応用3]編集した番組から不要部分を取り除く(57ページ)をご覧ください。

■ [応用1]プレイリストを修正する

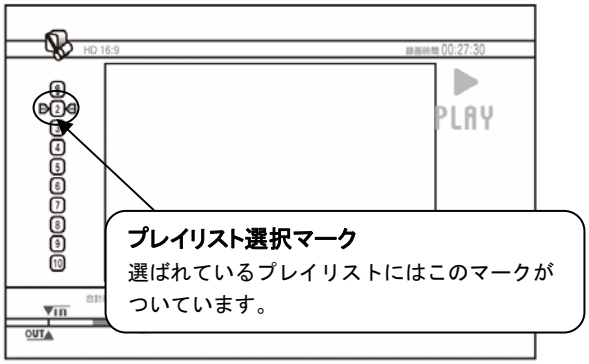
Rec-POT の操作

1 修正する番組を編集できるようにします。

方法については[①編集画面を開く](52ページ)をご覧ください。
⇒新しいプレイリストを設定できます。

2 修正するプレイリストを選びます。

カーソルボタンでプレイリストを選びます。
⇒新しいプレイリストが設定できます。





3 前に設定したように始点と終点を設定します。

[②オープニングを設定する](53ページ)を参考に設定します。
⇒始点と終点が設定され、プレイリストが修正されます。

プレイリストの統合

設定したプレイリストの範囲が、以前に作ったプレイリストの範囲と重なった場合、2つのプレイリストの範囲を統合したプレイリストとして設定されます。
必要なプレイリストを統合してしまわないようにご注意ください。



■ [応用2]プレイリストを削除する

Rec-POT の操作

1 修正する番組を編集できるようにします。

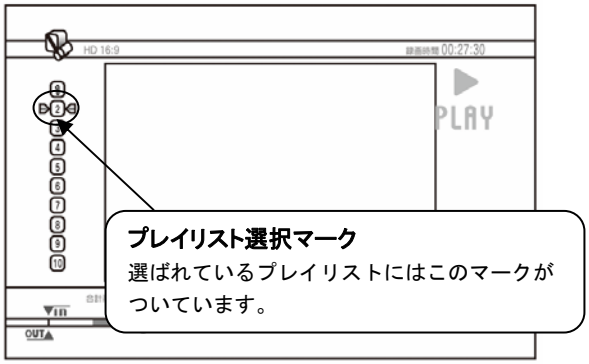
方法については[①編集画面を開く](52ページ)をご覧ください。

⇒新しいプレイリストを設定できます。

2 修正するプレイリストを選びます。

カーソルボタンでプレイリストを選びます。

⇒新しいプレイリストが設定できます。





3 [削除]ボタンを押します。

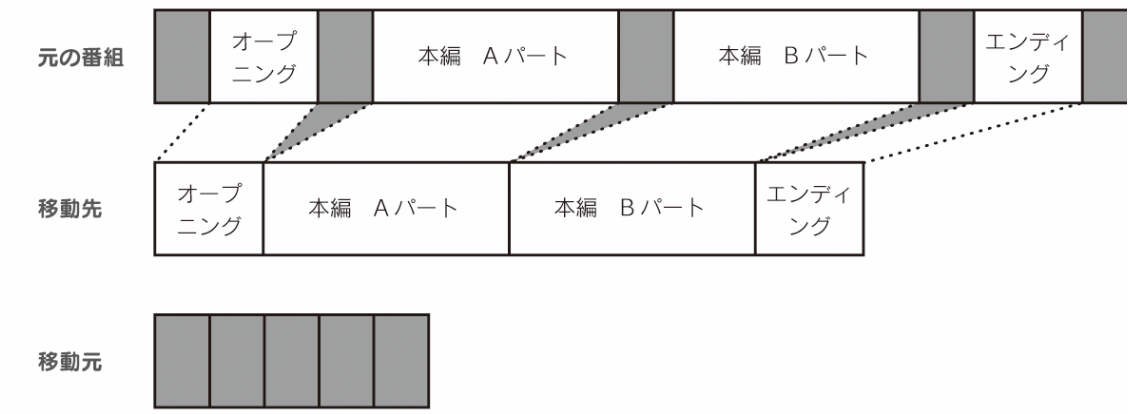
⇒選んだプレイリストが削除されます。



■[応用3]　編集番組から不要部分を取り除く

編集しただけでは、不要な部分を飛ばして再生しているだけで番組の使うディスク容量は減っていません。また、ディスクモードでは編集結果を再生することはできません。
そこで、編集した番組を移動すると、再生したい部分だけが移動されます。
本製品は再生しない部分が残ります。削除してください。
移動方法については[番組をムーブする](48ページ)をご覧ください。
削除方法については[番組を削除する](45ページ)をご覧ください。

● 移動した結果



本製品に再生したい部分を残す。
不要な部分だけをプレイリストに設定して移動すると、再生したい部分が本製品に残ります。

MEMO

付録

全ての番組を削除する.....62

ハイビジョンカメラと連携する.....63

２台のチューナーを使う.....70

困った時には.....72

Rec-POT メニューメッセージ.....76

仕様.....79

全ての番組を削除する

本製品に記録されている全ての番組を削除します。

注意

ロックされている番組も削除されます

全ての番組を削除してよいかどうかご確認ください。

全ての番組を削除する操作

1 本製品の電源を切ります。

【電源を入れる／切る】(20ページ)をご覧ください。

2 本製品をD-VHSモードに切り換えます。

【モードを切り換える】(16ページ)をご覧ください。

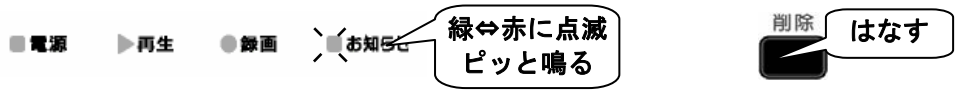
3 [削除]ボタンを押したままにします。



4 本製品の電源を入れます。

電源の入れ方については、【電源を入れる／切る】(20ページ)をご覧ください。

5 お知らせランプが緑⇔赤に点滅し、ピッと鳴ったら、[削除]ボタンをはなします。

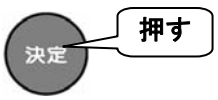


6 録画ランプが緑色に点灯するまで待ちます。



7 [決定]ボタンを押します。

⇒ ピピッと鳴り、全ての番組の削除が開始されます。
削除中は、録画ランプが緑⇔赤に点滅します。
ピーッ と鳴ったら、削除は完了です。



ハイビジョンカメラと連携する

本製品は、HDV 対応の i.LINK 搭載ハイビジョンカメラをつなぐことで、ハイビジョンカメラの映像を本製品に保存したり、その番組をハイビジョンカメラに書き戻したりできます。
※カメラの操作はお使いのカメラの取扱説明書をご確認ください。

参考

対応しているハイビジョンカメラを確認してください

お手持ちのハイビジョンカメラが本製品との連携に対応しているかどうかを、弊社Webページ対応表でご確認ください。

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/recpot/listr/

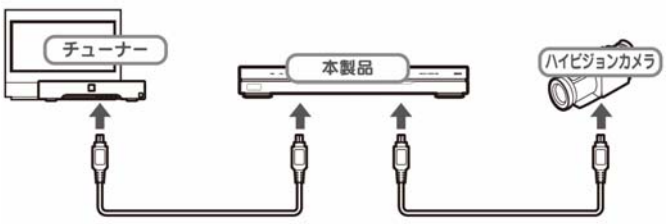
※ DVカメラと本製品は連携できません。ハイビジョンカメラ（HDVカメラ）のみ対応です。

カメラの映像を保存する

ハイビジョンカメラで録った映像を、本製品に保存することができます。
本製品に保存した後は、通常の番組と同様に再生することができます。

ハイビジョンカメラの操作

1. **[モード]ボタンを押し、「見る/編集モード」にします。**
2. **[HDVモード]にします。**
3. **i.LINK の出力設定をHDVにします。**
   「DV変換」機能があるものは「切」に設定してください。
4. **ハイビジョンカメラをつなぎます。**
   ⇒チューナーと本製品をつなぎ、本製品とハイビジョンカメラをつなぎます。



ハイビジョンカメラは本製品につないでください。

この後の操作では本製品とチューナの間のi.LINKケーブルを取り外すことがあります。
チューナにつないでしまうと、本製品とのつながりが断たれてしまいます。

この時点でテープを再生したり「“撮るテープ”モード」にしないでください。

チューナーによっては、この後の操作ができなくなる場合があります。

Rec-POT の操作

5 [接続機器]ボタンを押します。

⇒接続機器設定画面が表示されます。



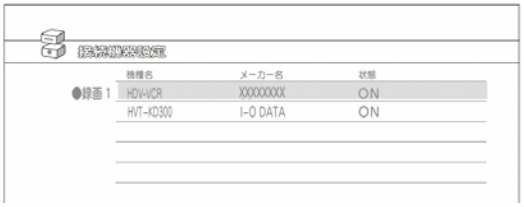
接続機器設定画面が表示されない。

[Rec-POTを登録]してください。方法については、各チューナーの取扱説明書をご覧になるか、本章の操作例をご参照ください。

6 つないだハイビジョンカメラを入力機器に設定します。

ハイビジョンカメラを選び、リモコンの[IN]ボタンを押します。

⇒ハイビジョンカメラが入力機器に設定され、 ●録画 1 に設定されます。

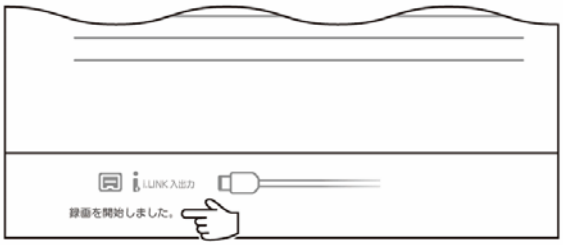




7 [録画]ボタンを約3秒押し続けます。

⇒録画が始まります。

画面下部に「録画を開始しました」と表示されます。



「帯域が足りないため録画を開始できません。」
「入力機器とリンクできないため録画を開始できません」と表示された

そのままでは録画を開始できません。

本製品とチューナーの間にある、i.LINKケーブルを抜いてください。

その後、5秒以上待ってから録画ボタンを押してください。

⇒録画が開始されます。

ただし、チューナーと本製品が接続されていないため、テレビに映像は表示されません。本製品の録画ランプが点灯していることを確認してください。

ハイビジョンカメラの操作

8 映像を再生します。

⇒テレビにも約5秒遅れて映像が表示されます。
再生開始直後は、表示がしばらく一時停止状態になります。
録画された映像には、一時停止された状態ではありません。ご了承ください。

Rec-POT の操作

9 映像が終わったら[停止]ボタンを押します。



⇒録画が終わります。

正確なタイミングで録画を終えるためには
ハイビジョンカメラのモニターに表示された映像でタイミングを計ってください。
テレビに表示されている映像は、実際の録画より約5秒ほど遅れています。

ハイビジョンカメラの操作

10 再生を停止します。

ハイビジョンカメラから保存した番組
保存した番組は「#<番号><カメラ名>」で表示されます。
※番号は連続されたものにはなりません
※この番組を他のRec-POTに移動すると番組名は「No Title」になります。



一部のチューナーでは本製品保存した番組を再生すると、エラーメッセージが映像の上に表示されることがあります。
このような場合は再生を一時停止し、一時停止を解除することで解決できることがあります。

映像をカメラに書き戻す

カメラの映像を本製品に保存した後、必要でしたら映像をカメラに書き戻すことができます。
本製品に映像を貯めておいて、他の人に渡したいときにカメラに書き戻すといった使い方ができます。
※カメラの操作はお使いのカメラの取扱説明書をご確認ください。

参考

カメラから保存した映像のみ書き戻せます
通常のテレビ番組などをカメラに書き戻すことはできません。

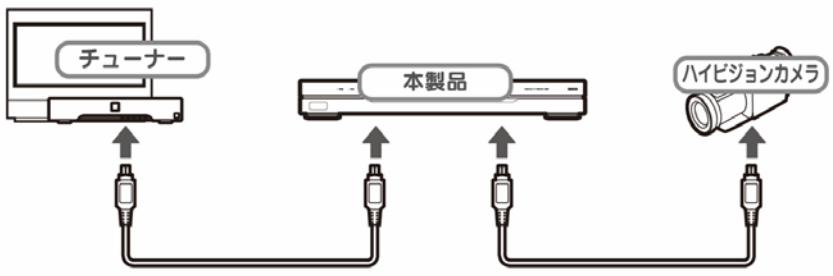
ハイビジョンカメラの操作

1 **[モード]ボタンを押し、「見る/編集モード」にします。**

2 **[HDVモード]にします。**

3 **i.LINK DV変換を[切]に設定します。**
「DV変換」機能があるものは「切」に設定してください。

4 **ハイビジョンカメラをつなぎます。**
⇒チューナーと本製品をつなぎ、本製品とハイビジョンカメラをつなぎます。



ハイビジョンカメラは本製品につないでください。
この後の操作では本製品とチューナの間のi.LINKケーブルを取り外すことがあります。
チューナにつないでしまうと、本製品とのつながりが断たれてしまいます。

この時点でテープを再生したり「“撮るテープ”モード」にしないでください。
チューナーによっては、この後の操作ができなくなる場合があります。

5 [録画操作]を選び、[録画ポーズ]を選びます。

⇒録画ポーズ状態になり、書き戻しの準備ができました。

Rec-POT の操作



6 [タイトル]ボタンを押します。

⇒タイトルリストが表示されます。

Rec-POTメニューの画面が表示されない

「Rec-POTを登録」してください。

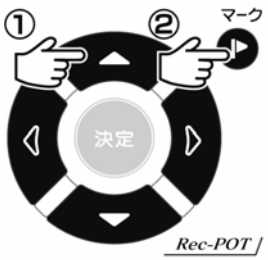
方法については各チューナーの操作例をご参照ください。

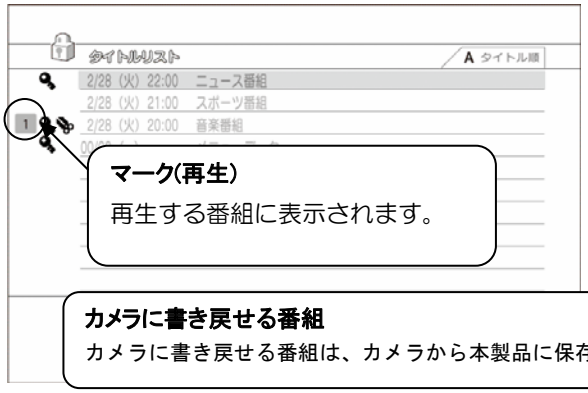
7 書き戻す順にマークを付けていきます。

カーソルボタンで番組を選び、[マーク]ボタンを押します。

⇒選んだ番組にマークがつきます。

最大16番組までマークを付けられます。





カメラに書き戻せる番組

カメラに書き戻せる番組は、カメラから本製品に保存したものです。

マークを外したいときは

マークを外したい番組を選んで、［マーク］ボタンを押してください。

繰り返し再生は[OFF]にしてください。

機器設定画面の「プログラム再生時の繰り返し設定」は[OFF]に設定してください。

[ON]になっていると繰り返し書き戻されてしまいます。

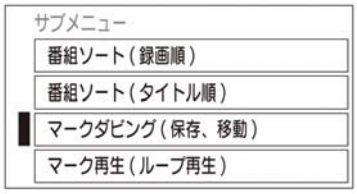
8 [サブメニュー]ボタンを押します。

⇒サブメニュー画面が表示されます。



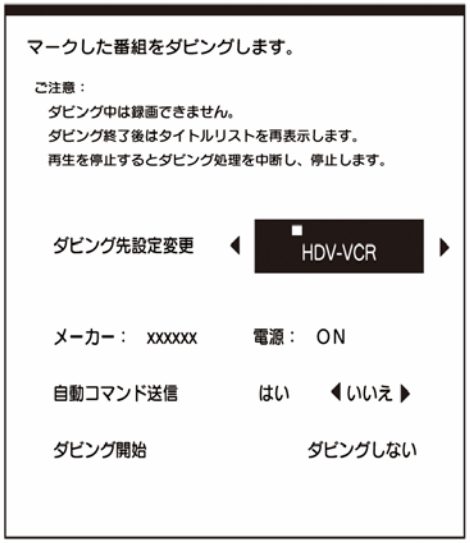
チューナーとつながっているi.LINKケーブルを確認してください
後の手順で、チューナーとつながっているi.LINKケーブルを取り外す必要があります。
そのため、事前にチューナーとつながっているi.LINKケーブルを確認しておいてください。

9 マークダビングを選択します。

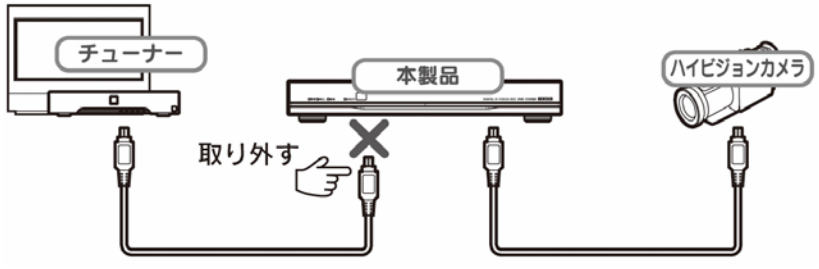


10 [ダビング先設定変更]をハイビジョンカメラに設定します。

※自動コマンド実行は「いいえ」を選択してください。
※全ての設定ができたら、「ダビング開始」を選択し、決定ボタンを押します。



11 約1分以内にチューナー側のi.LINKケーブルを取り外します。



以下の操作で、i.LINKケーブルを取り外さずに書き戻せる場合があります。
・チューナー側の操作で「オンエアー視聴に切り替える」
・チューナー側の操作で、本製品へのリンクを解除する。

ハイビジョンカメラの操作

12 [録画スタート]を選びます。

⇒しばらくして書き戻しが始まります。

13 書き戻しが終わったら[■]を選びます。

書き戻しが終わると、モニターは青い画面になります。

2台のチューナーで録画する

本製品は 2 台目のチューナーを録画専用のチューナーとして登録ができます。
その場合以下のことができます。

●録画用に設定したチューナーからの録画をする
●録画用と通常の２つのチューナーからの2番組同時録画をする。(同時に同じ番組を録画することも可能です。)
●録画用に設定した機器から録画中の番組を、通常の機器で再生する。

ただし、以下の制限があります。

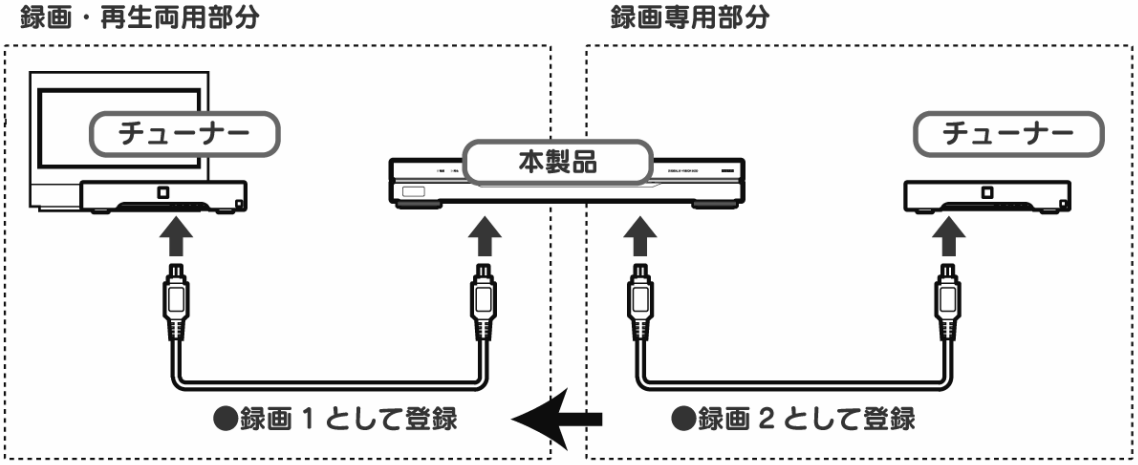
●録画用に設定した機器での Rec-POT メニュー操作はできません。
●録画用に設定した機器での再生はできません。(再生は通常に設定した機器を使用します。)

基本的な使い方

録画用の設定をおこないます(設定方法については、以下を参照)、2台目のチューナーのi.LINKメニューもしくは、リモコンにて、本製品へ録画をすることができるようになります。
本製品のリモコンはご使用いただけません。(※D-VHSモードのみ)。
※全てのチューナーでの組み合わせで動作保証しておりません。必ず、事前に録画を試し、正常に録画ができるかどうか確認してからお使いいただくよう、強くお勧めします。

動作に関してのご注意

録画用機器からの録画中はRec-POTフロントパネルの録画ランプがオレンジに点灯します。
また、録画用機器として動作中は、Rec-POTフロントパネルの電源ランプが「待機状態(オレンジ点灯)」になっていても、電源が入っています。その場合は、お知らせランプが緑色に点灯しています。
ランプをご確認の上、お使いください。
※お知らせランプが緑色の状態で、リモコンの「電源」ボタンを押すと録画用機器側の電源をOFFにできます。その後、「緑色」のお知らせランプは消えます。



録画したものはタイトルリスト内で共有されるため、
録画 2 は録画 1 側で再生可能

※イメージ図

録画用の機器設定

1 **[機器設定]ボタンを押します。**

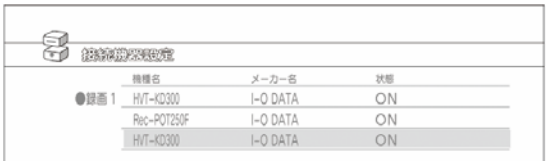


2 **録画用に設定する機器を選択し、「再生 ▲」を5秒以上押し続けます。**

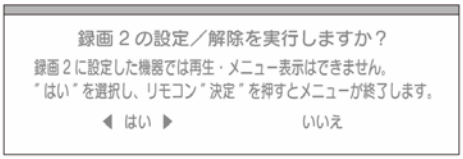


※録画1に設定している機器を録画用に設定しないでください。

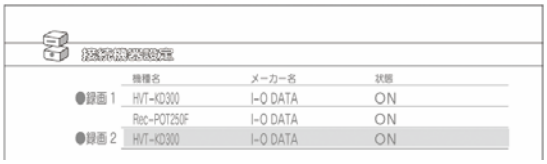
※チューナーのみ録画2に設定できます。



3 **確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。**



4 **以下のような表示がされます。**



録画2を間違って設定した場合のキャンセル方法

1 **[タイトルリスト]が表示されている場合は閉じます。**

2 **「再生 ▲」を5秒以上押し続けます。**

⇒ ピッと鳴り、録画ランプが点滅します。



3 **録画ランプが点滅中に、「決定」ボタンを押します。**

⇒ 設定が解除されます。

困った時には

本製品をお使いになり、問題が発生した場合にご覧ください。

電源が入らない

●電源コードは電源コンセントに接続されていますか？

電源コードを電源コンセントに接続してください。

操作できない

●電源ランプは点灯していますか？

電源コードを電源コンセントに接続してから、本製品が完全に起動する（電源ランプが青または紫に点灯）まで約20秒かかります。

専用リモコンで操作ができない

●専用リモコンの電池は消耗していませんか？

新しい電池と交換してください。 【電池を入れる】(21ページ)

●電池の極性（＋，－）は正しいですか？

電池を正しく入れてください。 【電池を入れる】(21ページ)

●本製品に向けて操作していますか？

本製品のリモコン受光部（お知らせランプの右辺り）に向けて操作してください。

●ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？

本製品を複数台お使いの場合は、製品ごとにユニット番号を設定します。
対応したユニット番号ボタンを押してから、操作してみてください。

●本製品はD-VHSモードですか？

ディスクモードでは専用リモコンを使えません。

専用リモコンの操作で複数のRec-POTが動作してしまう

●ユニット番号を設定しましたか？

本製品を複数台使う場合は、ユニット番号を機器設定で変更してください。 【機器設定】(37ページ)

本製品に手を触れると熱い

●本製品はハードディスクの放熱のため、上面、側面および背面は温度が高くなります。

品質、性能には問題ありません。
本製品を風通しの良い場所に設置してください。
また、本製品の上に物を置いたり、他の機器の上に本製品を置いたりしないでください。

Rec-POTメニューが表示されない

●ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？

本製品を複数台お使いの場合は、製品ごとにユニット番号を設定します。
対応したユニット番号ボタンを押してから、操作してみてください。

●i.LINKケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●チューナーに本製品を登録・認識していますか？

【チューナーに登録する】(23ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
また、チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。
チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。

●番組を録画していませんか？

番組の録画中に専用リモコンでの操作はできません。

●チューナーの電源は入っていますか？

Rec-POTメニューはチューナーの機能を使って番組として表示されます。
本製品を使うときは、チューナーの電源を入れてください。

●モードスイッチはD-VHSモードになっていますか？

「D-VHSモード」になっていることを確認してください。
※ モードを切り替える際は、必ず本製品の電源を切ってください。
【モードを切り換える】(16ページ)

●操作中チューナーが録画2に設定されている可能性があります。

録画2の設定を解除してください。
【録画2を間違って設定した場合のキャンセル方法】(71ページ)

●番組データがおかしくなっている可能性があります

記録されている番組データが異常になっている可能性があります。
一度本製品に記録された全番組を削除してみてください。
【全ての番組を削除する】(62ページ)

全ての番組を削除してもメニューが表示されない場合は、本製品の動作異常の可能性があります。
弊社の修理センターへ製品検査をご依頼ください。

Rec-POTメニューがちらつく

●本製品を接続したチューナーによっては、Rec-POTメニューが若干ちらつきます。

チューナー固有の問題です。ご了承ください。

録画/予約録画ができない

●i.LINKケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●コピーガードされた番組を録画しようとしていませんか？

コピーガードされた番組は録画できません。チューナーのメールをご覧ください。

●チューナーに本製品を登録・認識していますか？

【チューナーに登録する】(23ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。

また、チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。

チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。

●チューナーは正しく設定されていますか？

対応表をご覧になり、チューナーの設定が必要ないかをご確認ください。

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/recpot/listr/

番組を削除できない

●削除したい番組はロックされていませんか？

ロックされた番組は削除できません。ロックされている場合は、解除してください。　【番組を保護する［ロック］】(46ページ)

番組を編集したのに、編集された内容で再生されない

●編集結果が反映されるように設定されていますか？

設定によって、編集結果の反映をON／OFFできます。

機器設定(37ページ)を開き、「番組編集の結果を反映する」をONにしてください。

番組を移動（MOVE）できない

●i.LINKケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●移動先のD-VHSビデオデッキは、接続機器として設定されていますか？

D-VHSビデオデッキを接続機器として設定していないと、ダビングは行えません。【接続機器を設定する】(36ページ)

●移動したい番組はロックされていませんか？

ロックされた番組は移動できません。ロックされている場合は、解除してください。【番組を保護する［ロック］】(46ページ)

●移動先のD-VHSビデオデッキをチューナーが使っていませんか？

チューナーがD-VHSビデオデッキを使っていないこと、i.LINKに関する画面を開いていないことを確認してください。

チューナーが移動先のD-VHSビデオデッキを使っている(Linc状態)場合、本製品からD-VHSビデオデッキを認識できません。また、チューナーのi.LINKに関する画面を開いている場合、D-VHSビデオデッキに対して信号が出ている場合があります。

●移動先のD-VHSビデオデッキの録画スピードは正しいですか？

D-VHSビデオデッキによっては、録画スピードを正しく判別できないことがあります。

D-VHSビデオデッキの取扱説明書をご覧になり、D-VHSビデオデッキに録画モード（スピード）の設定があるときは、「HS」などに設定してください。

Rec-POTメニューメッセージ

Rec-POT メニューで表示されるメッセージと、その意味を説明します。

録画された番組がありません。
本製品に番組が録画されていません。

マークできる番組は 16 個までです。
マークできる最大数16個を超えてマークしようとしたときに表示されます。

マークされた番組がありません。
番組を一つもマークせずにマークダビングやマーク再生を実行しようとしたときに表示されます。

マークダビングを開始しました。
マークダビングを開始した時に表示されます。

機器リストがまだ取得できていません。
マークダビングを開始したとき、接続されている機器のリストが取得できていないときに表示されます。

ダビング先が選択されていません。
マークダビングを開始したとき、ダビング先が設定されていないか、見つからないときに表示されます。

ダビング先の電源が入っていません。
マークダビングを開始したとき、ダビング先の電源が入っていない場合に表示されます。

テープが入ってないか、書き込み保護されたテープです。
マークダビングを実行開始した時に、ダビング先のD-VHSビデオデッキにテープが入っていないか、テープに書き込みができない場合に表示されます。

ダビング先が動作中です。
マークダビングを実行開始した時に、ダビング先が再生などの動作を実行中である場合に表示されます。

他の機器がすでに使用中です。
マークダビングを実行開始した時に、D-VHSビデオデッキが他の機器(チューナーなど)に使用されている場合に表示されます。

入力モードの切換に失敗しました。
マークダビングを実行開始した時に、ダビング先の入力モード切換に失敗した場合に表示されます。

接続切換に失敗しました。
マークダビングを実行開始した時に、ダビング先の接続切換に失敗した場合に表示されます。

ダビング先の録画動作を開始できませんでした。
マークダビングを実行開始した時に、D－VHSデッキが本機からの命令を受け付けなかった場合に表示されます。

ロックされた番組が含まれているため、ダビングを開始できません。
マークした番組の中にロックされている番組が含まれているため、マークダビングを開始できません。

警告：バスリセット発生のため、ダビングに失敗した可能性があります。
マークダビング中にバスリセット発生のため、マークダビングに失敗した可能性があります。バスリセットは、ケーブルの抜き差しや、他機器の電源ON/OFFなどで発生します。マークダビング終了後にメニューを表示した時に表示されます。

警告：ダビング先の停止のため、ダビングに失敗した可能性があります。
マークダビング中に保存先が停止のため、ダビングに失敗した可能性があります。
マークダビング中に、ダビング先の電源が切られたり、録画が停止された場合に、ダビング終了後にメニューを表示した時に表示されます。

ダビングが中断されました。
マークダビング中に、本製品の再生状態を停止にした時に表示されます。

番組がロックされているため消去できません。
ロックされている番組を消去しようとした場合に表示されます。

入力機器が選択されていません。
録画1が指定されていない状態で、モニタ付き録画を開始した時に表示されます。

録画を開始しました。
録画1を使用して番組録画を開始した時に表示されます。

入力機器がチューナーのため、正しく録画できない場合があります。
機器設定メニューで、録画1にチューナーを設定している状態で、[録画]ボタンを押した場合に表示されます。

帯域がたりないため録画を開始できません。
S100やS200の機器が接続されていたり、他の機器が使用されていてiLINKバスの帯域が不足している場合に表示されます。

入力機器とリンクできないため録画を開始できません。
入力機器とのリンクに失敗した場合に表示されます。

録画できるストリームが流れていません。
録画できるストリームが流れていない場合に表示されます。

録画を停止しました。
録画を停止した時に表示されます。

書き戻し再生を開始しました。
カメラに書き戻し動作を開始した時に表示されます。
1分以内にチューナー側のi.LINKケーブルを取り外してください。

書き戻し再生を開始できませんでした。
カメラへの書き戻し動作が開始できなかった時に表示されます。
「書き戻し再生を開始しました。」と表示された後、1分以内にチューナー側のi.LINKケーブルを取り外さなかった場合に表示されます。

録画 2(裏録)を実行中のため設定変更できません。
録画2の機器を使用して録画中の番組を設定(ロック・マーク)を変更しようとしたときに表示される。

設定できる機器がありません。
ダビング先として設定できる機器がない場合に表示されます。
カメラを再生状態にしてください。

Rec-POTメニューメッセージ（続き）

この機器は録画2に設定できません。
録画2に設定できない機器を、録画2に設定しようとした場合に表示されます。

録画中の番組は編集できません。
録画2の機器を使用して番組を録画中を、番組編集しようとした時に警告表示されます。

同じ機器に録画1と録画2を設定できません。
録画1と録画2を同じ機器に設定しようとした場合に表示されます。

録画2（裏録）を開始しました。
録画2の機器を使用して録画を開始した場合に表示されます。

この番組は自動消去されました。
録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えてために自動消去された番組を選択した場合に表示されます。

録画2（裏録）を実行中のため削除できません。
録画2の機器を使用して録画中の番組は削除できません。

録画2（裏録）を実行中はマークダビングできません。
録画2の機器を使用して番組を録画中に、マークダビングを実行しようとした時に警告表示されます。

録画2（裏録）を実行中はカメラからの映像を録画できません。
録画2の機器を使用して番組を録画中に、カメラからのモニタ付き録画を実行しようとした時に表示されます。

仕様

製品名	デジタルハイビジョン対応 ハードディスクレコーダー Rec-POT EX
型式	HVR-HD1000EX
HDD容量	1000G バイト
インターフェイス	i.LINK(2 系統)　4 ピン S400 DTCP 対応
対応ストリーム	MPEG2-TS
ストリーム処理能力	HD ストリーム対応(28.3Mbps)
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	動作時　21W 待機時　7W
外形寸法	430(W) × 267(D) × 50(H) mm ※ 脚部、突起物は含まず。
質量	約 3.8kg
環境条件	温度 動作範囲　5～35℃ 保存範囲　-20～60℃ 湿度 動作範囲　20%～80%（結露のないこと） 保存範囲　5%～90%（結露のないこと）

索引

A－Z

D-VHSモード 16
　～で使う 29
i.LINK
　～端子 13
Rec-POTメニュー
　～の種類 31
　～を表示／切換／閉じる 30
　機器設定 37
　接続機器設定 35
　サブメニュー 34
　タイトルリスト 32
　プレイリストモード 39
　～メッセージ 76

あ行

移動
　番組を～する（ディスクモード） 27
　番組を～する（D-VHSモード） 48
オートロック 47
お知らせランプ 12
音
　操作～のON／OFF → ユニットボタン 14

か行

カメラ → ハイビジョンカメラ
機器設定 37

さ行

再生
　番組を～する（ディスクモード） 27
　番組を～する（D-VHSモード） 43
仕様 79
状態ランプ 12
接続機器設定 35
接続する 19
設置する 18
設定
　機器～ 37
　接続機器～ 35
専用リモコン
　～の各部の名称 14
　～の電池について 21
　～を準備する 21
　～操作可能範囲 21
操作音
　～をON／OFFする → ユニットボタン 14

た行

待機状態 20
タイトルリスト 32
チューナー
　～に登録する 23
　～対応モード 16
ディスク残量 12
ディスクモード 16
　～で使う 25
電源
　～スイッチ 13
　～ボタン 14
　～ランプ 12
　～を入れる 20
　～状態 20

は行

ハイビジョンカメラ 63
番組
　～を再生する（ディスクモード） 27
　～を再生する（D-VHSモード） 43
　～を削除する（D-VHSモード） 45
　～を編集する（D-VHSモード） 51
　～を保護（ロック）する（D-VHSモード） .. 46
　～を録画する（ディスクモード） 26
　～を録画する（D-VHSモード） 40
　全ての～を削除する 62
プレイリスト機能 51
　サブメニュー 34
　番組をプログラム再生する 43
　番組を移動する 48
編集
　番組を～する（D-VHSモード） 51

ま行

マーク 32
メッセージ → Rec-POTメッセージ 76
メニュー → Rec-POTメニュー
モード
　～を切り換える 16
　D-VHS～で使う 29
　ディスク～で使う 25
　～スイッチ 13

や行

焼け付き防止 → メニュー画面オートOFF 37
ユーザー登録 11

ら行

リモコン → 専用リモコン
録画
　～ランプ 12
　番組を～する（ディスクモード） 26
　番組を～する（D-VHSモード） 40
　～の仕組み（ディスクモード） 26
　～の仕組み（D-VHSモード） 40
ロック
　オート～ 47
　～ボタン 46
　～の仕組み 46
　番組を～する 46
　番組の～を解除する 46
　全ての番組の～を解除する 47

ご意見・ご質問はこちら

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターで受け付けています。

電話

■ 電話番号　金沢（本社）　076-260-3646
　　東京　　03-3254-1036

■ 受付時間　9:00 ～ 17：00（土・日曜／祝祭日は除く）

FAX

■ FAX番号　金沢（本社）　076-260-3360
　　東京　　03-3254-9055

インターネット

インターネットをご覧いただける場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

■ ホームページ　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項

1. お使いのチューナー名。
2. 他にお使いになっているi.LINK機器。
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
　（画面の表示やメッセージなどの内容）

直販サイト「アイオープラザ」より
①付属品をはじめ、すべての弊社製品を販売中。
②万一でも安心の製品保障サービス受付。
③新規会員登録で、優待ポイント1,000円分進呈。
※特典内容は予告なく変更する場合があります。
アイオープラザ
www.ioplaza.jp/pkg.htm

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■ 内部のデータについて

・検査の際に、内部のデータは全て消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

■ お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■ 修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■ メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■ これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

■ 修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■ 修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- “AVHDD”は、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HVR-HD1000EX 取扱説明書
2007.10.15　B-MANU200878-01
発　行　　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Ⓒ 2007 I-O DATA DEVICE,INC. All Rights Reserved.

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目８４番地
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.iodata.jp/support/
●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●
金　沢／TEL.076-260-3646　FAX.076-260-3360
東　京／TEL.03-3254-1036　FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）

PRINTED WITH SOY INK
この取扱説明書はアメリカの大豆協会認定の
環境に優しい大豆油インキを使用しています。